

渓仁会グループCSRレポート

2012

K渓仁会グループ 医療 漢仁会 社会福祉 漢仁会

渓仁会グループの事業理念

【事業理念】

安心感と満足の提供 Offering a Sense of Security and Satisfaction

信頼の確立

Building the Foundations of Trust

プロフェッショナル・マインドの追求

Attaining a Professional Mind

変革の精神

Developing the Spirit of Change

【ミッション】

保健・医療・福祉の各サービスをシームレスに提供し、 地域住民の生涯に亘るニーズに応え支援を行う。

【サービス憲章と行動基準】

私たちは、質が高く効率的なサービスを提供するため、

グループの総力を挙げ(グループ連携)、地域の関係機関との連携を密にし(地域連携)、 他の関連事業との提携を展開し(業務提携)、患者様・ご利用者様との協同活動を通じて、 満足度の高い保健・医療・福祉サービスを目指します。

そのために…

1.	私たちは、患者様やご利用者様にとって最高の満足度を追求します。	顧客満足
2.	私たちは、最高のサービス品質を追求します。	品質管理
3.	私たちは、人権と倫理を尊重したサービスを提供します。	人権尊重
4.	私たちは、地域社会の一員として事業活動の公正性確保と遵法を徹底します。	······遵法精神
5.	私たちは、常に技術の向上と革新に努めます。	技術変革
6.	私たちは、日々研鑽に励み、人格と知識の向上に努力します。	教育研修
7.	私たちは、職種を越えたチーム活動に徹します。	・・チームワーク
8.	私たちは、サービス提供に関わる情報を公開します。	情報公開
9.	私たちは、各機関との地域連携を重視し地域に根ざすサービスを供給します。・	地域重視
10.	私たちは、環境を保護するためにあらゆる配慮を尽くします。	環境保護
11.	私たちは、お互いを尊重し、ゆとりある職場環境を追求します。	職場環境
12.	私たちは、個人情報を保護し、守秘義務を果たします。	·個人情報保護

渓仁会グループ CSRレポート2012

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT

編集方針

このレボートは、渓仁会グループのCSR(社会的責任)の考え方や取り組みをお伝えしています。2012年版では、人の一生をライフステージ(誕生~青年期、成人~就職・出産・育児期、働き盛り・親の介護世代、セカンドライフ世代などの人生の節目)に分け、人の生涯にわたるニーズに当グループの取り組みを重ね合わせてご報告しています。また、ご利用者さまの視点からそれぞれの取り組みを再確認したいと考え、各ステージにおけるステークホルダーのお話を伺いました。ご協力いただいたステークホルダーの皆さまの声は、今後のCSR活動の新たな展望につなげたいと考えています。

信頼性への配慮

CSR分野に詳しい有識者の方々からいただいたご意見やアドバイスをもとに、公正な視点から情報公開をしております。第三者意見では、掲載情報や取り組み内容に対する継続的な評価・意見をいただきたいと考え、昨年に引き続き東京交通短期大学学長の田中宏司氏にお願いいたしました。

報告の範囲

当グループの2011年度(2011年4月~2012年3月)の活動を中心に、2010年度以前や2012年度以降の活動情報も記載しています。各施設の診療実績等のデータについては特に記載のない限り、2011年度のものです。

ホームページでの情報公開について

当グループのWebサイト上でも、同内容の情報を公開しております。

CSRレポート掲載URL http://www.keijinkai.com

CONTENTS

私 た ち の C S R 渓仁会グループがめざす「ずーっと。」			
	さまの一生に寄り添い続けること 。」を支える組織として		
活動	力報告 皆さまの一生に寄り添うため	に	
1st Life Stage	誕生~青年期を支える渓仁会グループの活動 ····································		
2nd Life Stage	成人~就職・出産・育児期を支える渓仁会グループの活動ステークホルダーとのコミュニケーション	····P12	
3rd Life Stage	働き盛り・親の介護世代を支える渓仁会グループの活動 ステークホルダーとのコミュニケーション	····P16	
職員紹介	それは一人ひとりが輝いてこそ。仕事のやりがい・パワーの源・	P20	
4th Life Stage	セカンドライフ世代を支える渓仁会グループの活動ステークホルダーとのコミュニケーション		
5th Life Stage	人生の終末・ターミナル期を支える渓仁会グループの活動 ステークホルダーとのコミュニケーション	····P26	
すべてのライフ	ステージにわたる渓仁会グループの活動		
地域の「ずー	-っと。」を共に支える医療連携の取り組み	····P32	
データで見る	※三に会グループ	P34	
渓仁会ク	ブループ施設運営概要		
[医療法人渓			
手稲渓仁会病院	院/手稲渓仁会クリニック ·····	···P38	
	クリニック ······	1 10	
	觉		
	 リニック/泊村立茅沼診療所		
【社会福祉法		1 10	
	八六二云」 きの郷 ····································	P44	
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
コミュニティホー	ム(八雲/美唄/岩内)/美唄市東地区生活支援センターすまいる	···P47	
	ンター(青葉/豊平/円山/手稲渓仁会/新琴似/おおしま)・・		
株式会社ハーラ	ティワークス/株式会社ソーシャル/渓仁会健康保険組合	···P49	
	-プの人材育成への取り組み		
CSR経営を	より確かなものにするために	···P54	
トップメッセ・			
	高責任者 医療法人淫仁会 理事長 秋野豊明		
	福祉サービスの用語集		
渓仁会グループ施設一覧P63			

私たちのCSR

渓仁会グループがめざす「ずーっと。」 それは、皆さまの一生に寄り添い続けること





「ずーっと。」を支える組織として

医療・保健・福祉の各サービスを切れ目なく提供。 地域の皆さまの生涯に亘るニーズに応え、支援を行います。

渓仁会グループは、医療法人、社会福祉法人、ヘルパーサービス、

福祉用具サービス会社の4法人を運営しています。

グループ内の法人や各施設が互いに連携することで、

誕生から人生の終末・ターミナル期まで、

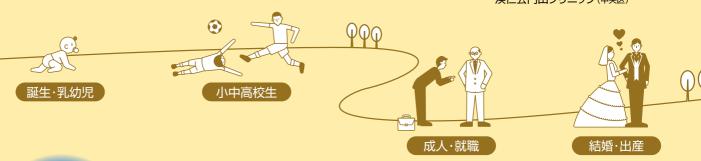
生涯に亘って必要とされる最良のサービスを提供しています。

病気の早期発見、健康管理、 予防に関するサービスを 提供しています。

働き盛りの方の 健康チェックに



渓仁会円山クリニック(中央区)



急な病気や ケガのときに

乳幼児からご高齢者まで、最新医療技術と機器を備え、総合医療を提供しています。



手稲渓仁会病院(手稲区)



手稲渓仁会クリニック



手稲家庭医療クリニック

1981年 5月 定山渓病院 開院

1982年 4月 西円山敬樹園 開所

1987年12月 手稲渓仁会病院 開院 1989年 4月 コミュニティホーム白石 開所

1990年 1月 渓仁会円山クリニック 開設

1993年 1月 はまなす訪問看護ステーション 開設 1994年 9月 西円山病院 老人デイケア施設基準認定 10月 西円山敬樹園ホームヘルパーステーション 事業開始

ステーション 事業開始

1996年 4月 カームヒル西円山 開所

11月 定山渓病院 老人デイケア施設基準認定 1998年 4月 コミュニティホーム八雲 開所

6月 株式会社ソーシャル 設立 1999年 4月 デイサービスセンターすまいる 開設 ホームヘルパーステーションすまいる

事業開始 5月 訪問看護ステーションおおしま 開設

12月 あおばデイサービスセンター 開設

委託事業開始

4月 コミュニティホーム美唄 開所

(西円山敬樹園、コミュニティホーム白石、

5月 手稲渓仁会クリニック 開院 9月 デイサービスセンターおおしま 開設 10月 グループホーム白石の郷 開所

11月 デイサービスセンター白石の郷 開設 2002年 4月 手稲渓仁会デイサービス 開設

7月 グループホーム西円山の丘 開所

8月 豊平渓仁会デイサービス 開設 新琴似渓仁会デイサービス 開設

2003年 4月 訪問看護ステーションあおば 開設

4月 青葉ハーティケアセンター 開設

病気や障がい等で介護が必要な方に、専門のスタッフが日常生活をサポートいたします。

介護予防・ 生活支援・通所介護が 必要な方に (在宅支援)



デイサービス (手稲区/中央区/豊平区/ 厚別区/白石区/北区/ 岩内町/美唄市/気仙沼市)



訪問看護ステーション (手稲区/厚別区/岩内町/ 気仙沼市)



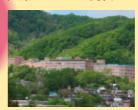
ヘルパーステーション (中央区/白石区/西区/ 美唄市/気仙沼市)

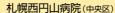


福祉用具の レンタル・販売 (株式会社ハーティワークス)

長期療養が 必要な方に

看護・介護・リハビリテーションを中心とした 医療サービスを提供しています。







定山渓病院(南区)



子育て



親の介護



定年退職· セカンドライ



人生の終末

介護·社会復帰· 生活支援が 必要な方に (入居支援)

住み慣れた家庭や地域で生活できるよう、介護・福祉のサービスを提供しています。



ケアハウス (軽費老人ホーム) ●カームヒル西円山(中央区)



介護老人保健施設 ●コミュニティホーム (白石区/八雲町/美唄市/ 岩内町)



特別養護老人ホーム ●西円山敬樹園(中央区) ●月寒あさがおの郷(豊平区) ●菊水こまちの郷(白石区) ●岩内ふれ愛の郷(岩内町)



グループホーム ●西円山の丘(中央区) ●白石の郷(白石区)

ショートステイセンター 開所 2005年 1月 株式会社ハーティワークス 設立

3月 手稲渓仁会病院 新型救命救急センター

4月 ドクターヘリ正式運航開始

10月 在宅ケア事業本部 設置

(2007年4月 在宅ケア事業部に名称変更) 2006年 4月 札幌市白石区第1地域包括支援センター事業開始 介護予防センター 事業開始 (まえだ、定山渓、円山、曙・幌西、白石中央)

2007年 4月 ケアセンターこころ 事業開始 コミュニティホーム岩内 開所

7月 地域密着型介護老人福祉施設 菊水こまちの郷 開所 小規模多機能型居宅介護

菊水こまちの郷 開設 2008年 4月 岩内町地域包括支援センター 事業開始 居宅介護支援事業所ケアプランセンター こころ 事業開始

「社会福祉法人渓仁会」へ名称変更 10月 手稲家庭医療クリニック 開院

11月 西円山病院「札幌西円山病院」へ 病院名称変更

2010年 7月 手稲渓仁会病院 NICU 開設

10月 訪問看護ステーション岩内 開設 泊村立茅沼診療所指定管理者として 運営開始

2011年 8月 月寒あさがおの郷 開所 11月 デイサービスセンターま〜れ 開設 2012年 4月 岩内ふれ愛の郷 開所

10月 手稲渓仁会病院 地域医療支援病院

1st Life Stage 誕生~青年期





職員インタビュー 1

まだ数少ない職業だからこそ 支えていくための専門 子どもの心に寄 多くの可能性があるはず。 ŋ 添

治療や入院が必要なお子さんに対して、その内容や必要性などを年齢や発達段階に合わせてわかりや すく説明し、少しでも心のストレスや不安を軽くしたり、その子らしく主体的に治療体験を乗り越えられる ように支援する専門職が "チャイルド・ライフ・スペシャリスト (CLS)"です。アメリカでは1920年代から 始まった取り組みですが、日本ではまだその数が少なく、2011年時点で26名のCLSが病院で活動して います。手稲渓仁会病院では2010年からCLSを採用し、お子さんやご家族をサポートしています。

手稲渓仁会病院の小児在宅医療・人工 呼吸器センターに所属する安達梓さんは、 2011年からCLSとして活動しています。たま たま観たテレビ番組でCLSという存在を知っ た安達さんは、小児患者にもきちんと治療の 情報を与えるべきという考え方に衝撃を受け、 「自分もそういう仕事がしたい」と決心。アメリ カの大学院で2年間の専門プログラムを受け、 2010年に認定資格を取得しました。

アメリカで学んだのは病棟での活動が中 心でしたが、「当センターでは在宅医療がメイ ンのため、最初はとまどう場面もありました。また、 院内でもCLSの役割について知られていな かったため、できることをアピールしながら少しず つ仕事を増やしていきました」と振り返ります。 そうした努力が実り、ご家庭への訪問のほか、 小児病棟やICU、外来などでも活動する機 会が増えています。

CLSは、患者さまと一緒に遊んだり、会話を したりしながら信頼関係を築いていきます。 安達さんは、「そうすることでわずかな心の変 化に気づいたり、悩みや本音を聞くことができ る」と言います。また、親御さんからの相談に 応じたり、見過ごされがちなご兄弟の心のケ アも行うなど、ご家族全体をサポートすること もCLSの重要な役割になっています。

「子どもは、大人が思っているよりもいろい ろなことを感じたり、考えたりしています」と安 達さん。その口に出せない感情をくみ取って あげることを何よりも心がけている、と言います。 「CLSという存在が少しでも患者さまやご家 族の心の支えになれば。そのためにも実績を 重ねてこの仕事の役割を知ってもらい、活動 の場を広げることが今の目標です」



手稲渓仁会病院 チャイルド・ライフ・スペシャリスト

安達梓 ADACHI AZUSA

08 |



ご自宅でも安心して呼吸ケアを続けられるように

~小児在宅医療・人工呼吸器センターの開設

呼吸補助が必要な患者さまに鼻マスク を介して空気を送り、治療を行う方法を「非 侵襲的換気療法」(noninvasive ventilation=NIV)といいます。成人では 標準的に使用されるこの治療方法を、手 稲渓仁会病院では2006年から小さいお子 さんの治療にも取り入れ、普及を図ってきま した。2008年には「小児NIVセンター」を

設立。在宅ケアのサポートなども行ってきま した。

2010年頃から在宅人工呼吸療法を必 要とされる小児の患者さまが増加し、また 神経難病などの成人患者さまの診療も行 うようになったことで、体制のさらなる強化 が必要になりました。こうした背景から2012 年4月に名称を「小児在宅医療・人工呼吸

> 器センター」と改め、 慢性呼吸不全の患 者さまに、継続的でよ り包括的なケアを提供 することになりました。

[手稲渓仁会病院]

同センターでは、呼吸機能の評価をはじ め、NIVによる在宅人工呼吸器の導入、呼 吸療法を必要とする方の入院から在宅へ の移行支援、訪問診療による在宅での人 工呼吸器管理・調整などを行っています。 ケアは、医師、看護師、作業療法士、ソーシャ ルワーカー、チャイルド・ライフ・スペシャリスト からなる多職種チームが担当し、患者さま とご家族の生活や思いを大切にしながら サポートしています。こうしたケアを実践す ることで、ご自宅でも安心して生活できる患 者さまが増えています。



●診療実績の推移

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
紹介患者数	13名	17名	23名	41名
新規在宅導入	5名	9名	9名	25名
在宅患者数	22名	29名	43名	70名
延べ訪問診療数	64回	116回	267回	382回

未来の看護師をめざす高校生に体験の場を

√「ふれあい看護体験 | の実施



5月12日の「看護の日」の記念行事として、 手稲渓仁会病院で開催しているのが、「ふ れあい看護体験 | です。実際の看護を体 験し、患者さまとふれ合ってもらうことで、看 護への理解を深めてほしい、という思いから、 1990年より毎年実施しています。

2012年度は札幌手稲高校の2年生・3年

生10名が参加。消化器病センター、 産科、整形外科、小児科に分かれて、 看護師の説明を受けながら見学と 体験を行いました。看護服に身を包 んだ生徒さんたちは、新生児看護や 入院患者さまの足浴などを体験。最 初は緊張している様子でしたが、少 しずつ患者さまと会話を交わすうち に笑顔も見られるようになりました。

体験後は、「良いケアを提供するために、 患者さまの表情の変化をよく見ていること に気づいた | 「コミュニケーションを大事に しているのが印象的だった」「多くの人た ちが協力し合って医療現場が支えられて いることを知った」といった感想が聞かれま した。将来は看護師をめざしたい、という生

[手稲渓仁会病院 他]

徒さんの声に、先輩看護師たちは気を引き 締めていました。

地元の学生を対象に、看護を体験しても らう取り組みは定山渓病院でも実施してい ます。こうしたイベントを通して看護の魅力 を知ってもらい、多くの方に関心を持っても らえるように、渓仁会グループでは啓発活 動にも力を入れています。



病棟のお子さんに元気と笑顔を届けたい ~ホスピタル・クラウンの活動

[手稲渓仁会病院]

ホスピタル・クラウンとは、病院や施設など で活動する道化師(clown)のこと。主に 小児病棟を訪問し、楽しいショーや遊びを 通して、長期療養中のお子さんたちの子ど もらしさや社会性などを引き出すお手伝い をします。

手稲渓仁会病院の小児科病棟では、

2009年9月から、第1・第3木曜日の午後に、

ホスピタル・クラウンが来訪しています。事 前に担当看護師と打ち合わせを行い、患 者さまの体調を確認したうえで、それぞれ の個性や病状に合わせながら活動します。

なかなか外の世界にふれることができな い小さな患者さまにとって、ホスピタル・クラ ウンと過ごす時間は楽しみの一つ。コミカル な動きやバルーンを使ったパフォーマンスな どを見るとみんな笑顔になり、積極的にホス ピタル・クラウンとコミュニケーションをとるお 子さんもいて、病室が明るい雰囲気に包ま れます。月2回の訪問を心待ちにしている 患者さまも多く、ご家族とともに楽しい時間 を過ごされています。

長い闘病生活のなかでも、できるだけ喜 びや安らぎを感じてもらい、少しでも前向き に治療に臨んでいただくために。同病院で はさまざまなかたちで、お子さんの心のケア にも配慮した取り組みを続けています。



小児から高齢者まで、地域の健康を守るために

~手稲家庭医療クリニックの医療体制

手稲家庭医療クリニックは2009年10月 の開設以来、地域に根ざした医療やケア を提供しています。開設から3年が経過し、 あらゆる年代、あらゆる疾患の初期診療に 対応する「家庭医」や「プライマリ・ケア」の 役割についても、多くの方に知っていただ けるようになりました。

現在は、風邪や腰痛、皮膚疾患などの 一般的な急性期症状だけでなく、高血圧



や糖尿病などの慢性疾患、妊婦健診や末 期のがん患者さまの症状緩和、健康診断 やワクチン接種、禁煙外来など、予防医学 も含めた総合的な外来医療が可能な体制 を整えています。また、小児科・産婦人科を 標榜していることから小さなお子さんの来 院も多いため、受付近くにプレイコーナーを 設けて、診療までの時間を過ごしていただ けるように工夫しています。

外来診療以外にも、中学校や保育園な どの嘱託医、外来通院が困難な方への訪 問診療、高齢者住宅やグループホームの 訪問診療、予後が限られた方の在宅での 看取りなど、院外での活動の場も広がって います。地域の行政や教育機関、福祉施設、 医療機関とも連携しながら、地域医療を支 える取り組みを展開しています。

[手稲家庭医療クリニック]



生命の芽生えから、人生を終えられると きまで。身近な「かかりつけ医」として、これ からも患者さまのニーズに応えられる医療 体制をめざしていきます。



皆さまの一生に寄り添うために

ステークホルダーとのコミュニケーション



患者さまの声

手稲家庭医療クリニックに お子さんと通院されている 患者さま 大谷 さやかさん



妊娠期からずっと見守ってもらえる安心感 今では家族みんなでお世話になっています。

手稲家庭医療クリニックには2人目の子どもを妊娠していたときからお世話になっています。妊婦健診などの妊娠に関するケアだけでなく、体調が悪いときも診てもらうことができ、トータルに体調を見守ってもらえるので安心でした。

出産では予定より1カ月早く破水したため、生まれた子どもの体重がやや少なく、手稲渓仁会病院の小児科に1週間ほど入院しました。そういう場合でも渓仁会グループ間のしっかりとしたフォロー体制があったので、不安を感じることはありませんでした。クリニックの主治医の先生には情報伝達など両院の橋渡しをしてもらえたので、そういう面でもストレスなく出産することができました。

現在は子どもの予防接種や風邪をひいたときなど、私や主人も含めて何かあればクリ

ニックに通院しています。ちょっとした体調変化などは電話でアドバイスを受けることもあり、まさに我が家の"かかりつけ医"。年内には3人目が生まれる予定ですが、2人目と同じようにクリニックで健診を受け、手稲渓仁会病院で出産することになっています。

(2012年8月7日に大谷さんのご自宅でお話をうかがいました)



出産前から生命と継続的に関わり続ける家庭医として、地域の皆さまから信頼される医療を追求しています。

当クリニックは「内科・小児科・産婦人科」を標榜科にしています。地域の健康を守る家庭医として小児科は必須、そして産婦人科は生命が誕生する前からのケアが重要なことから、幅広い患者さまに来ていただきたいという意味も込めて掲げることにしました。

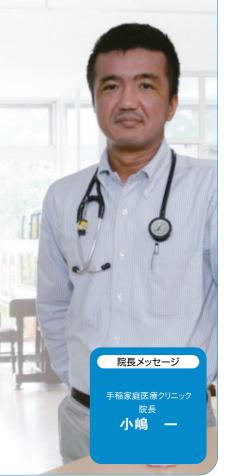
少しずつですが、当クリニックで出産前から ケアを受けられる方が増えてきました。例えば、 多様化するライフスタイルを踏まえた妊娠・出 産計画のアドバイスや、小さいご兄弟がいる 場合の配慮の仕方など、その方と密接に関わ る家庭医だからこそできるケアの良さをご理 解いただけている証だと思います。また、妊娠 中に病気になった場合でも、薬の効果とリス クをきちんと説明した上で、より安全な治療方 法を提示できる強みもあります。

お子さんの疾患については、ほとんどの

ケースが風邪などの感染症や病後の経過観察が多いため、9割以上を当クリニックで対応できています。どの年代の患者さまでも同じですが、当クリニックをかかりつけにされている方にはできるだけ自分たちでトータルケアを行い、安心していただけるように心がけています。

治療だけでなく、将来的なことも見据えた幅広いアドバイスをできるのが家庭医のメリット。私は、目の前の患者さまを診るだけでなく、その方を通じて「家庭」を見ることで、よりきめ細かなケアができると考えています。

無事に出産をされて、今度は予防接種のためにお子さんを連れて来られる方の姿を見ることは本当にうれしいことです。家庭医として、いつまでもご家族の健康を見守り続けていくことが私たちの使命だと考えています。



2nd Life Stage 成人〜就職・ 出産・育児期

職員インタビュー 2

救急 見えてくる。 幅 広 医 患 療の n 者さま る 救 新 命 救 未 急 セン

手稲渓仁会病院は、2005年3月に新型救命救急センターとしての認可を受けて以降、同年4月にドクターヘリ基地病院指定、2007年5月には新救命救急センター棟を開設するなど、救急医療の充実に向けた取り組みを行ってきました。救急の患者数は年間で約2万5000人。重症者からから軽症者まで、幅広い症状の患者さまを受け入れ、一人でも多くの方の生命を救うことをめざしています。救命救急部門では、これからも地域の皆さまの生命を守る砦として、新しい挑戦を続けていきます。

救命救急処置が必要な患者さまをヘリコプターで搬送し、スピーディーな治療開始を図るドクターヘリ。手稲渓仁会病院救命救急センターの副センター長を務める奈良理医師は、ヘリに同乗し、患者さまへの応急処置を行うフライトドクターとしても活躍しています。

奈良医師はひたすら救命救急医療の道を 歩んできたエキスパート。「私が医師になった 1990年代は、日本の救急医療はまだ発展途 中の時代。自分たちで新しいものをつくり上 げていくやりがいを感じました」

救急医としてキャリアを重ねてきた奈良医師が、3年前に新しい飛躍の場として選んだのが手稲渓仁会病院でした。その理由は、「心肺蘇生法や重症外傷の治療など、自分の得意分野を活かしながら、さらにドクターへリといった新しい挑戦ができる環境が魅力だったから」。また、1次から3次の救急患者さまに

対応する救命救急センター、という特性にも 大きな可能性を感じたと言います。

同病院の救命救急センターは、機能面や 医療の質が高く評価されています。奈良医 師はこれからの取り組みとして、初期治療だ けでなく、処置後の入院患者さまのケアも両 立できるようになれば、もっと医師のモチベー ションは上がる、と展望を語ります。そうした体 制づくりも視野に、救急医の育成にも力を入 れています。「日本としての救急医療のスタイ ルを確立することによって、将来的には日本 型の救急医の育成にもつなげていきたいと 考えています」

「いつまでも好奇心や挑戦する気持ちを持ち続けていたい」と奈良医師。日本初となるメディカルウイングの研究運航への協力など、救急医療の未来を見つめながら、新しい価値を切り拓く取り組みが続きます。



■患者さまの生命を救うための挑戦

~救命救急センターの活動

手稲渓仁会病院の救命救急センターは、 救急搬送される重症患者さまだけでなく、 ご自分で来院されることが可能な中等症 や軽症の患者さまも受け入れています。 2011年度の同センターの患者数は24,467 人(1日あたり約67人)と数が多く、状況に 応じて他科でも診療を行うことで、より多く の患者さまに対応できる体制をとっています。

また、2005年4月から開始した道央ドク ターへリは、同病院から半径150kmの範 囲を運航圏に、ヘリコプターで医師と看護師 を派遣し、迅速な処置の開始とスピーディー な搬送を図っています。2011年度は445件 の出動実績がありました。同センターでは

[手稲渓仁会病院]

ドクターヘリの有効性を高めるため、啓発 活動の一環として各地で報告会や講習会 を開催し、理解を促す活動も行っています。

地域の生命の砦として、一人でも多くの 患者さまを救うために、これからも救急医療 体制の強化に取り組んでいきます。



Olumn メディカルウイングへの協力

2011年11月から2012年1月、2012年6月から2013年3月 までの期間にわたり、丘珠空港を拠点とした医療優先の 固定翼機(ジェット機)の研究運航が行われています。高 度な専門治療が必要な重症患者さまの搬送を目的とする もので、北海道をカバーする運航範囲の広さや夜間飛行 も可能なことなどから、その有効性が期待されています。

手稲渓仁会病院は この「メディカルウイ ング」の研究運航 にも協力し、航空医 療の発展に貢献し ています。



外来診療を受け持つクリニックとしての役割

~手稲渓仁会クリニックの機能

手稲渓仁会クリニックは、増大しつつ あった手稲渓仁会病院での外来患者さま の待ち時間をできるだけ減らし、より適切 で効率的な医療を提供することを目的に、 2000年5月に開設されました。現在は、内科・ 呼吸器内科·小児科·外科·形成外科·皮 膚科・眼科など12の診療科目を持ち、手稲 渓仁会医療センターの外来部門を担って います。

樫村暢一院長は、「本院である手稲渓



樫村暢-院長

仁会病院と同じ理 念で、同じように良 質な医療サービスを 提供することが当ク リニックの責任。患 者さまにとっても、建

物は違っても医療の内容は手稲渓仁会 病院と一体になっていることが安心感に つながっているはず |と話します。

同クリニックができたことで、手稲渓仁 会病院は他の病院からの紹介状をお持 ちの患者さまや緊急の処置が必要な患者 さまの対応が中心となり、急性期病院とし ての機能が強化されました。また、外来診 療に特化した同クリニックの機能も、患者 さまをはじめとする地域の方々に正しく理 解され、活用されてきました。

その一方で、「検査時は手稲渓仁会病 院に移動していただくなど、施設面では患 者さまにご不便をかけてきた面もあった」 と樫村院長は言います。そうしたマイナス 面を少しでも解消し、患者さまにとってより

[手稲渓仁会クリニック]



良い外来機能をめざすために、将来的に は体制の見直しや再編も行いながら、地 域に信頼される医療サービスを追求して いく考えです。

■子育て世代のがん患者さま同士が交流できる場を

- ~ 「さくらんぼ会」の活動

子育て中の若い世代で、がんになる方 が増えています。手稲渓仁会病院のがん 相談支援室では、そうした子育て世代の がん患者さまやご家族が不安や悩みを話 し合うサロン「さくらんぼ会」を開催してい ます。

がんという病気をお子さんに伝えても大 丈夫なのか、どのようにお子さんを支えてい

けば良いのか、など、子育て中の患者さま は多くの悩みを抱えられています。そのよう な悩みを同じ立場の患者さま同士で話さ れることで、体験談を参考にされたり、少し でも心を軽くするためのお役に立てば、と いう思いから始まりました。

「さくらんぼ会」の開催は毎月第2水曜日 の午前中。患者さまご本人をはじめ、パート

[手稲渓仁会病院]

ナーの方や小さなお子 さんも参加されています。 また、チャイルド・ライフ・ スペシャリスト(8ページ 参照)、医療ソーシャル ワーカー、緩和ケア認定



看護師も同席し、お子さんの心のケアなど に対してアドバイスも行っています。

生まれたばかりの生命を守るために

- ~ 周産期医療への取り組み

手稲渓仁会病院の小児科は2010年7 月に、産婦人科フロアにおいてNICU(新 生児特定集中治療室)を開設しました。3 床と小規模ではありますが、周産期二次救 急拠点病院として、疾患を持つ新生児を できるだけ受け入れ、適切な処置を行うた めの取り組みでした。

NICUでは現在、妊娠30週以降のハイリ スク新生児、一過性多呼吸、感染症、先天 性心疾患などの新生児疾患を対象にして いますが、最近では未熟児の症例も増える 傾向にあります。同科では、多様化する疾 患に対応できるように、医師をはじめとする スタッフのスキルアップも図っています。



子どものための環境をより手厚く

~小児医療の展望

2011年11月に策定された「道央圏地域 医療再生計画」において、手稲渓仁会病 院が「小児救急医療体制強化」事業に取 り組むことになりました。この事業では小児 の3次救急を担う医療機関における重篤な 小児救急患者さまの応需情報の把握や紹 介などを行うITネットワークシステムの整備 のほか、同病院に4床の重篤な小児救急対 応病床を設けることが決まっています。

これまでも同病院は重篤な小児救急患

者さまの受け入れを積極的に行っており、 全道でも数少ない小児循環器医療に取り 組むなど、小児医療の充実に努めてまいり ました。これからはその実績を活かしながら、 さらに重篤な小児救急医療への体制を強 化することになります。

現在は大学病院や3次救急医療機関お よび道立子ども総合医療・療育センターと のワーキンググループを立ち上げ、ネット ワークシステムの運用開始から着手する

[手稲渓仁会病院]



予定です。北海道における重篤な小児救 急医療のモデルとして、新しい取り組みに挑 戦しています。



皆さまの一生に寄り添うために



患者さまの声

手稲渓仁会病院に運ばれ、 救命救急処置を受けられた 佐藤 眞吾さん



ドクターへリで運ばれ、迅速な処置を受けたから今の自分がある。 手稲渓仁会病院で働く人たちの意欲とやる気を実感しました。

2011年6月に国道をバイクで走行中トレー ラーと衝突事故に遭いました。幸い道の駅に 近く、駆けつけた救急隊がドクターへリを要請 してくれました。意識不明の重体から現場で 意識が戻り、ヘリの中で先生から「すぐ着くか らがんばって | と声をかけられたときに 「助かっ たしと思いました。

手稲渓仁会病院の救命救急センターに着 くと、スタッフの方々が待機していてすぐに治 療が始まりました。右足膝下開放骨折※骨盤 粉砕骨折、動脈損傷などを負っていましたが 手際良く処置してくれました。

約4カ月の入院中、スタッフの皆さんを見て いましたが、誰もが真剣に患者のことを考え、 情報を共有してフォローし合い、一つのチーム として心を含めた全身をサポートする。「人間

を看る」という姿勢 が根付いていると感 じました。

実は震災ボラン ティアに向かう途中 の事故でした。今で は中断した活動を 再開できるまでにな りました。これもずっ



と見守り続けてくれている病院の皆さんのお かげです。人の運命とは分からないものです。 ドクターヘリで手稲渓仁会病院に運ばれ、と ても幸運だったと思っています。

(2012年8月31日に小樽市赤岩にてお話をうかがいました。 佐藤さんは現在、同病院でリハビリを受けながら、ロッククラ イミングにも挑戦されています)

※開放骨折/折れた骨が外に飛び出している状態

地域の生命を守る基幹病院として、機能の向上に取り組み 一人でも多くの患者さまを救うための努力を。

当院は手稲区を中心とする札幌市北西部 のほか、小樽市や石狩市、さらにはドクターへ リの運航圏内を含む、非常に広い医療圏を受 け持っています。高度な救命救急医療とあら ゆる急性期医療に対応し、生命の砦となる医 療機関としての使命に取り組んでいます。

一方で、近年は増え続けるニーズに応えら れず、空きベッドの不足などから救急搬送患 者さまを受け入れられない状況が出てきました。 この問題を少しでも解消するため、年度内に HCU*12床を開設する予定です。また、慢性 的なベッド不足については、病床の増床や個 室化を図り、より多くの患者さまを受け入れら れる体制をめざしています。

新しい機器や機能の導入も進めています。 既に手術支援ロボット「da Vinci | や最新型 の320列CT (コンピュータ断層撮影) 検査装 置が稼働していますが、他にも手術台と血管 X線撮影装置を備えたハイブリッド手術室の 導入、ICUや救命救急センターのベッドの拡 充なども行う予定です。

当院は民間病院ですが、地域の基幹病院 として、公的な役割も担っていく責任があります。 現在、研究運航を行っているメディカルウイン グ(医療優先固定翼機)についても協力を行 うなど、北海道全体の医療の質の底上げにも 貢献しています。

私は以前、良い医療というのは知識と技術の みによって実現できると思っていました。しかし 最近は、患者さまの満足を得なければ良いサー ビスとは言えない、さらに職員の満足度も高く なければ成り立たない、ということを知りました。 双方にとって幸せな医療を提供できる環境、そ こに当院の魅力があるのだと考えています。

※HCU/ハイケアユニット=準集中治療室、高度治療室。ICUよりも症状が軽度な患者さまの治療を行う施設



3rd Life Stage 働き盛り・ 親の介護世代



器

専

集

団

が

職員インタビュー 3

超音波によって心臓の状態を調べるエ コー検査や、身体に負担をかけず症状の改 善を図る心臓カテーテル治療など、循環器分 野における医療技術は飛躍的に進歩してい ます。手稲渓仁会病院の循環器内科では、 病棟、エコー、カテーテル、不整脈の各チーム

エコーチームを率いる村上弘則医師は、超 音波専門医・指導医の資格を持つ循環器エ コーのスペシャリスト。「当科は循環器内科の

を専門の医師が受け持ち、質の高い医療を

提供しています。

専門家集団。地域の中核病院として、すべ ての循環器疾患に対応しています」と胸を張 ります。

手稲渓仁会病院の循環器内科は、すべての循環器疾患に対応した、全国的に見ても珍しい診療体制

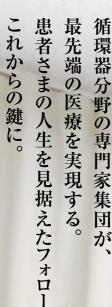
が特徴です。特に、専門医によるエコー検査・心臓カテーテル治療は、北海道でも屈指の実績数を誇り、 最先端の医療サービスが高い評価を受けています。また近年は急性期のケアだけでなく、長い目で患

者さまの経過を見つめていくシステムの運用など、より良い医療の実現に向けた取り組みを行っていま

北海道では村上医師のような循環器エ コーの専門医が常勤する病院は10施設ほど。 同科では年間6500件以上のエコー検査を実 施していますが、なかには道内で2施設しか 行っていない高度な検査もあり、精度の高い データによる診断が可能になっています。

また、大動脈弁が固くなって血液の流れが 悪くなる硬化性大動脈弁狭窄症は、高齢の 方は外科手術が難しいとされていましたが、 カテーテルによる「大動脈弁形成術」によって、 症状を改善できるようになりました。村上医師 は「術後1週間程度で退院できるなど、低侵 襲なのがメリット。合併症のリスクも低くなります」 とその効果を話します。

専任の病棟チームによる術後の患者さま の容態管理や、退院後の患者含まの経過を 観察するフォローアップシステムなど、独自の 取り組みも展開しています。患者さまのアフ ターケアやメンタル面のフォローも重要。と村 上医師は言います。「優れた専門家を育成し、 最先端の医療を追求する姿勢と、患者さまと





|手術支援ロボット「da Vinci」 導入後の経過

~実績報告

2011年8月に、北海道では初となる手術 支援ロボット「da Vinci」が手稲渓仁会病 院に導入されました。11月からはトレーニン グを受けた医師が、「da Vinci」による腹腔 鏡下前立腺(がん)全摘出手術を行ってき ました。

「da Vinci」のメリットは、患者さまの身体 に負担が少ない低侵襲手術を正確に行え るという手術精度の高さ。また、従来の腹 腔鏡手術よりも画像が3Dで視野が広く、機 械制御によって手術を行うため、医師が操 作しやすいのも大きな特長です。

同病院では11月から2012年3月までの間に14例の手術を実施。さらに2012年4月からは健康保険が適用されたことで、手術数は4月から7月中旬までに23例と大幅に増えました。こうした動きについて、熊谷章副院長は「報道などでda Vinciのことが知られ

[手稲渓仁会病院]

るようになり、『da Vinciでの手術を受けたい』 と要望される患者さまもいます。既に、選ばれる医療技術の一つになってきたと感じます」 と言います。

手術後の回復も早く、開腹手術の場合は退院までに平均して13日ほどかかっていたのが、「da Vinci」の使用によって9日に短縮されました。熊谷副院長は「1週間程度まで短くできるのでは」と言います。

将来的には婦人科や外科での運用も視野に入れています。「既に子宮全摘出手術は実績があり、肺がんなどへの使用も検

討段階」と熊谷副院 長。患者さまにとっ てのメリットを見極め ながら、より広範囲で の使用を図っていく 予定です。



熊谷章副院長

より快適な環境で充実した健診を

~施設リニューアル



渓仁会円山クリニックは2012年4月より施設の改修工事を行い、5月17日にリニューアルオープンしました。くつろげる空間づくりと、より精度の高い検査の実施を目的に、これまで2階部分にあった検査スペースを1階に拡充。広々とした待合ロビーや受付、診察室を1階に配置し、検査順序の再検討を行うことで、スムーズに

検査を受けていただけるよう になりました。また、広いロッカ ールームや小さなお子さま連 れでも安心なキッズルームな どを設け、快適にご利用いた だけるように配慮しました。

最新鋭の検査機器や新たな検査も導入しています。 CT(コンピュータ断層撮影 装置)をより診断精度の高い

最新型に更新。また、緑内障の早期発見 につながる視野検査や、苦痛の少ない経 鼻胃内視鏡検査(鼻カメラ)、甲状腺がん を早期発見するためのエコー(超音波診 断装置)なども導入し、検査内容の充実を 図りました。

健診を受けられた方への新たなサービ スとしては、地下1階のフィットネスルームを

[渓仁会円山クリニック]

会員制の「メディカルフィットネス」としてご利用いただけるようにしました。健康運動指導士による個別の運動プログラムの作成や、健診受診から6カ月後に実施するメディカルチェックなど、医療機関ならではのさまざまなサポートサービスを提供しています。

より多くの方に快適かつ気軽に健診を 受けていただき、健康意識を高めてもらう ために、渓仁会円山クリニックでは検査後 のフォローも含めて、地域の健康を守る取り 組みを続けています。



安心して暮らしていただける住環境づくりのお手伝い

一个住宅改修の取り組み

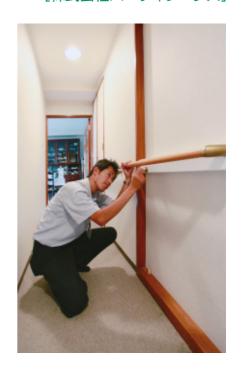
高齢や病気などによる障がいで、それま で暮らしていたご自宅での生活が不便に なる場合があります。長年住み慣れた愛 着のあるご自宅で安全に暮らしたい、と願 われる方のために、株式会社ハーティワー クスは、住宅改修のご相談と施工を請け 負っています。

改修内容はお住まいの状況とご利用さ れる方の身体状況やニーズなどに合わせ て、福祉用具専門相談員や福祉住環境 コーディネーターの資格を持つスタッフが 提案を行います。一戸建て住居だけでなく、 マンションにも対応し、より安全で快適に生 活できる環境づくりをお手伝いします。

同社の山田典史営業担当は「歩行の 補助のために、手すりを付けるご家庭が 増えています。設置については、例えばト イレまでの動線を想定しながら最適な取り 付け箇所や施工方法を提案し、できるだ け身体に負担をかけず、自立した生活が できるように配慮します」と言います。

手すりの取り付け以外にも、トイレや浴 室の交換、開き戸から引き戸への変更、 畳敷きの和室からフローリングへの変更 といった改修や、冬期用滑り止めマットの 設置など、生活の細部にわたる改修サー ビスを行っています。こうした改修工事や 福祉用具の導入には、介護保険などが 適用されるため、ケアマネジャーとも連携 しながら、ご利用者さまが安心してご自 宅で暮らしていただけるようにサポートし ています。

[株式会社ハーティワークス]



がんと上手に付き合っていただくために

~「がん市民フォーラム」の活動



手稲渓仁会病院の地域連携福祉セン ター内にあるがん相談支援室では、がん に関する情報提供の場として、患者さま・ ご家族・がんに関心のある地域の方を対 象にした、がん市民フォーラム「がんを知

ろうシリーズ」を開催しています。

がんと上手に付き合っていくためには、ま ずがんをよく知ってもらうことが大切、という 観点から、フォーラムでは同病院でがん治 療に関わる医師や看護師などによる講演

[手稲渓仁会病院]

を行い、がんについて理解を深めていただ きます。その後、7名程度のグループに分かれ、 参加された方々が悩みや不安を語り合って いただく茶話会を行っています。

がん患者さまの中には、「がんのことを なかなか他の人に話せない」「同じ病気 の人と会って話がしたい | と思われる方も 多く、こうした茶話会での交流は貴重な機 会となっています。また、茶話会にはフォー ラムの講師をはじめ、医師・看護師・薬剤師・ 医療ソーシャルワーカーなども参加し、皆さ まの声をじっくりお聞きしています。

がんの悩みや不安を少しでも軽くする ための手助けとなるように、がん相談支援 室では、がん患者さま同士の交流サロン「さ くら会」や子育て世代のがん患者サロン「さ くらんぼ会」の実施、院内で情報を検索 するためのインターネット環境の整備、患 者図書の設置など、患者さまを支えるさま ざまな取り組みを行っています。



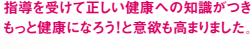
皆さまの一生に寄り添うために

ステークホルダーとのコミュニケーション



患者さまの声

渓仁会円山クリニックの 生活習慣病外来に 通われている患者さま 井上 務さん



近年周囲に健康を損なう人が増えていて、 自分も気をつけなければならないと思い、適正 体重に戻そうとダイエットを始めましたが、一 定以上の結果が出ませんでした。そんなとき、 知人が渓仁会円山クリニックで生活習慣の 改善指導を受け、1年間で劇的にやせたのを 見て、2年前から生活習慣病外来に通い始め ました。

それまでも自分なりに運動や食事の制限な どはしていましたが、専門家に話を聞くとほと んどが間違い。正しい知識をつけると、半年で 目標体重に達しました。部分的だった健康の 知識の全体像が見えたことで、食事や運動 の量や内容を自分で管理できるようになりまし た。また、先生や保健師さん、運動指導士さ んに、私がやってみたことを話すとほめてくれ るので、がんばろうとやる気が一気に出るんで すよね。

施設やサービス体制にも満足しています。 いま、メディカルフィットネス(17ページ参照) を利用していますが、予定に合わせて時間が 調整できるし、受付時間も今年から21時半ま で延長となったので、仕事の後にも通えるよう になりました。これからはもう一段階意識を高 めて、体脂肪率を減らしていこう、自分の健康 にもっと投資をしようと思っています。先生方、 またよろしくお願いいたします。

(2012年7月11日にご勤務先の北海道システム・サイエン ス株式会社でお話をうかがいました)

検査技術の向上と健診受診者へのアフターケアの充実で 皆さまが安心して暮らせるように、地域の保健を支えます。

当クリニックは、2012年春のリニューアルを 機に、これまで以上により多くの方に健診を 受けていただき、地域の健康づくりに貢献す ることをめざして、積極的なアプローチを展開 しています。検査内容の充実や新型の検査 機器の導入など、検査精度とサービス体制の 向上に取り組み、受診後のフォローや受診率 を高めるための啓発にも力を入れています。

2010年度より始まった「生活習慣病外来」 と「禁煙外来」は、専門の医師やスタッフが 継続的な指導と治療を行うことによって、健 康的な生活へと改善を図るものです。強みは 健診から指導・治療、見守りまで、当クリニック で一貫して行えること。社会的な健康意識の 高まりもあり、年々受診される方が増えています。 これからは札幌圏だけでなく、地方の方にも 同じようなフォローができるシステムの必要性 も感じています。

また、健診結果から、要再検査、要精密検 査などと判定された方には、病院での再診や 再検査を働きかけ、病気の早期発見につな げています。実例としては、胸部X線で異常影 が見つかり、手稲渓仁会病院で精密検査を 受けたところ早期がんが発見されて手術に至 った方がいらっしゃいました。そうしたアフター フォローを充実させるため、札幌市内各区の 医療機関と提携を結び、スムーズに受診して いただける体制を築いています。

当クリニックは日本人間ドック学会の「人間 ドック・健診施設機能評価」において認定さ れた質の高い検査を提供しています。さらなる 健診技術の向上を図り、地域の皆さまに安心 して健診を受けていただけるサービスをめざし ていきます。



-ジは違ってもピアノを弾く喜びは同じ。 いつまでも音楽と関わっていきたい

渓仁会円山クリニック 経営管理部顧客管理課 安江 麻菜

3歳からピアノを習い始めて以来、ピアノは私の人 生に欠かすことのできない存在でした。学生時代は ピアノコンクールで優勝したり、ノルウェーの大学に 留学をして、北欧やドイツでの演奏会などに出演した こともありました。

現在は、渓仁会円山クリニックの1階で、健診を受 けられる方の受付対応や事務処理などをしています。 ピアノとはかけ離れているようですが、当クリニックの 塙なぎさ副院長は、手稲渓仁会病院で「なぎさ楽団」 を主宰するほどの音楽好き。楽団の活動のことは私 も以前から知っていて、「先生たちと一緒に音楽がで きたらきっと楽しい」と思ったことが、渓仁会に入職す る動機になりました。

今では手稲渓仁会病院でピアノコンサートを開い たり、札幌西円山病院や西円山敬樹園などの施設 で演奏することもあります。病院や施設での演奏会

は聴いている方と距離が近く、表情が見えるのが楽し み。「すてきでした」と声をかけてもらえるとうれしくなり ますね。本格的なステージでのピアニスト活動とも両 立させながら、多くの人に音楽の魅力を伝えたいと思 っています。

当クリニック1階の待ち合いには、ピアノが

置かれています。「いつか 時間を設けて演奏会がで きるといいね」と塙先生と も話しています。もうすでに 選曲も済ませているので、 近いうちに実現したいですね。

> リサイタルや声楽・器楽の伴奏 アンサンブルなど幅広い演奏活 動も行っています



それは一人ひとりが輝いてこそ。

渓仁会グループでは、さまざまな魅力や才能を持つ人たちが活躍しています。

キラッと輝いている人の



1960年、20歳のときに友人 と登った北アルプス白馬岳で の貴重な1枚(向かって右側 が平井副院長)



(伊達市大滝区)にて。最 近はのんびりとした山歩き を楽しんでいます

私が初めて登山をしたのは、中学生の時に父に連 れられて行った奥秩父の山でした。当時は第1次登 山ブームだったこともあり、私もたちまち山の魅力に 惹き付けられました。

学生時代は友人たちと北アルプスなどの山に登っ たり、医師になってからも北海道から九州まで、全国 の山々をめぐりました。私はカメラも趣味にしているの ですが、何泊もしながら山を縦走するようなときは、重 い機材や寝袋など30キロにもなる荷物を担いで登っ たこともあります。今ではさすがにちょっと楽をして、登 山口近くのホテルに泊まったりもしますが、それでもカ メラと三脚を背負って歩くのは大変ですね。

山の魅力。それは何度登ってもおもしろい、と感じ られること。登山をしているときはとても苦しいのですが、 でもなぜか「また登りたい」と思ってしまう。自力で 登ったときの爽快感や美しい眺め、全国からやってく るいろいろな人たちとの出会い。何度登っても毎回 新しい感動を与えてくれます。

最近は札幌近郊の低山に出かけることが多くなっ ていますが、できれば北アルプスや奥秩父の尾山など、 若い頃に登った山に再びチャレンジしてみたいですね。 昔と同じ場所で同じ空気を感じたとき、どんな感動が あるのか。それも楽しみだと思っています。

定山渓病院 副院長

10代から始めて、登山のキャリアは60年近く。 あの感動や爽快感、何度登っても山はおもしろい

平井 靖夫

スキーを通じて 障がいを持つ人たちと出会ったことが、 人生のターニングポイントになりました

物心がついた頃からスキーに親しんでいました。本格的に始めたのは、札幌の大学に進学してから。スキースクールのインストラクターをするほどスキーに熱中しました。

スキーの楽しさは、二度と同じ体験ができないこと。 山や雪のコンディションはその時その時で違いますし、 見える景色も、滑る技術も変化します。また、若者で も高齢者でも、その年代の楽しみ方ができるのもいい ところ。まさにスキーは生涯スポーツだと思います。

スキーを介して知り合った仲間たちとの繋がりも、と ても大切な宝物です。私が今の仕事に就くきっかけ になったのも、そうした「人との出会い」でした。

インストラクターの先輩の紹介で、ハンディキャップ を持ちながらスキーを楽しむ人たちと知り合い、「日常 はどうやって生活しているのだろう」と思ったことから、 バイスキーの講習 会で指導する谷口 さん。基礎スキー 準指導員資格を持 ち、技術も確か

福祉用具を扱う仕事に興味を持ちました。

就職後は上級障害者スポーツ指導員の資格も取り、 スキーだけでなく、車いすマラソンやフライングディス クの大会など、さまざまな障がい者スポーツに関わる ようになりました。そうした活動を通して得た経験は仕 事にも活かされています。

夢は、パラリンピックに出場できるような選手が育って欲しいということ。現在、私が指導しているクラブにも有望な選手がいるので、一緒に上をめざしていきたいと思っています。



仕事のやりがい・パワーの源

仕事で力を発揮できるのも、プライベートや人生が充実しているからこそ。 "元気の源" をご紹介します。

私は2009年に社会福祉法人渓仁会に入職し、翌年の7月からあおばデイサービスセンターの生活相談員として働いています。その前までの約10年間は、主に販売業務などのサービス業に携わっていましたので、まったく畑違いの業種からの転職でした。

私が福祉の世界に関心を持ったのは、祖父が認知症になったことでした。家族は追いつめられて助けを求めているのに、そのときの病院や福祉施設の対応は私たちの期待に沿うものではありませんでした。「なぜ?」という疑問や不満だけが大きくなっていきました。

私は日々お客さまと接して、その方のニーズをくみ取り、要望に合ったものをおすすめする仕事をしていました。その私から見て、医療や福祉に関わる仕事は「究極のサービス業」であるはずなのに、病院や施設のスタッフの方の態度は「お客さまに対するものではない」と感じました。それなら自分が苦しんでいる人と

福祉サービスをつなぐパイプになろうと。それまでの仕事や祖父の介護での経験もきっと活かせるだろう、と福祉の世界に飛び込みました。

そうした自分自身の実感から、仕事ではご利用者さまやご家族の声に出せない思い、隠れた要望を引き出すように心がけています。まだまだこの世界では新米ですが、福祉のプロフェッショナルとして満足していただけるサービスをめざしていきたいと思います。

お話のきっかけづくりの 部分で、以前の仕事での ノウハウが役立っています





究極のサービス業に携わるプロフェッショナルとして ご利用者さまやご家族の声に出せない思いを大切に

4th Life Stage セカンド ライフ世代





職員インタビュー 4

腔

ケアの

向

上が

実現するためにできること。より質の高い看護を

専門性の高い看護の知識と技術を持つ看護師を病院独自に養成しようという取り組みが、院内認定看護師制度です。札幌西円山病院では、2010年度に「摂食・嚥下障害看護」と「認知症看護」、2011年度には「感染管理」の計3分野に関する認定看護師制度を開始。実務経験3年以上の高い技能と意欲を持つ看護師が対象で、半年間の研修を行った後、試験によって認定されます。同病院では2011年度までに29名の院内認定看護師が誕生し、看護サービスの質向上を図っています。

岩本泉看護師は、札幌西円山病院の院内認定看護師制度が始まった2010年度に、食べることと飲み込むことのケアに関わる摂食・嚥下障害看護分野の研修を受け、認定されました。「以前、神経疾患の患者さまが、徐々に食事がとれなくなっていったとき、『食べられなくなったら、生きていく意味がない』と言われた言葉が心に残っていました。今は胃ろう*などの処置もありますが、その前にできることがあるのでは、と感じていました」

岩本看護師の目標になったのが、日本看護協会の摂食・嚥下障害看護認定看護師*を取得した田之上恵子看護師長の存在でした。研修では、田之上師長からの指導を中心に、疾患については医師の立場から、患者さまの口腔ケアやリハビリについては言語聴覚士からと、他職種の協力も得ながら摂食・嚥下のメカニズムを実践的に学びました。

岩本看護師は「唾液の誤嚥*から肺炎になる場合がありますが、口の中をきれいに保つと、熱が出にくくなることがわかりました。私が率先して患者さまの口のケアを丁寧に行うことで、周りのスタッフの意識も変わってきています」と言います。専門性の高い看護師の養成について、田之上師長は「最大のメリットは、患者さまに起きている現象の要因を予測できること。それにより早期からどうすれば改善につながるのか、具体的なケア内容を導きだすことができるのです」と説明します。

摂食・嚥下の専門知識を得たことで、言語 聴覚士との情報のやり取りがスムーズになっ たのも大きな成果でした。ほかの看護スタッフ にもわかりやすく内容を伝えられるため、よりき め細かなケアが可能になりました。

「学んだことを現場に還元するのが目標。 後輩に伝えながら、自分の技能も高めていきたい」と話す岩本看護師。 すべては患者さまの ために一。 同病院では今年も岩本看護師に 続く院内認定看護師の研修が始まっています。

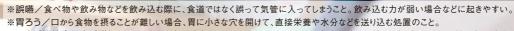


※向かって右が岩本泉看護師、 左が指導にあたった田之上恵子

看護師長 札<mark>幌西</mark>円山病院

摂食·嚥下障害看護院内認定看護師 岩本泉

IWAMOTO IZUMI



※日本看護協会認定看護師/日本看護協会が特定する21の看護分野において、高度な看護の技術と知識を発揮し、質の高い看護を 実践できることを認める資格。専門教育機関での半年間以上にわたる研修と認定審査の合格によって取得できる。

いつまでもイキイキと住み慣れたご自宅で生活していただくために

~高齢者デイサービスの取り組み

[社会福祉法人渓仁会 デイサービス]



介護保険の対象となる方に、入浴や食事、 レクリエーションやリハビリテーションなどを 日帰りで提供するのがデイサービスです。 社会福祉法人渓仁会では、ハーティケアセ ンターやデイサービスセンターなど10の施 設で、デイサービスを実施しています。

ご利用者さまの多くは、要介護認定を受 けた方が中心ですが、要支援認定など自

立度の高い方も増えています。この背景に は、ご自宅で生活される高齢者が増えたこと、 また、介護予防に対する意識が高まり、積 極的に対策に取り組む方が増えたことなど が考えられます。

デイサービスでは、ご利用者さまの身体 状況や要望にできるだけ沿ったケアを提供 しています。健康チェックや体操、トレーニ ング機器を使ったリハビリテーション、趣味 の活動やゲームなどのレクリエーションまで、 幅広いメニューを楽しんでいただきながら、 身体や言語機能にも働きかけを行います。 また栄養バランスのとれた食事や、スタッフ の介助による入浴など、安心してご利用い ただけるサービスが好評を得ています。

デイサービスは介護をされるご家族に とってのレスパイト(一時的な息抜き)として の効果もあります。社会福祉法人渓仁会 では、アンケート調査などを通してご利用者 さまやご家族のニーズをとらえ、将来的には より柔軟なサービスの提供も図っていく考 えです。



■地域の福祉を支え、守るという使命

■~喜茂別町特別養護老人ホーム「きもべつ喜らめきの郷」の開設

北海道は高齢化率が急速に進んでいま す。特に、地方にある市町村は高齢者の 割合が非常に高く、医療や福祉サービス にかかる負担が増えています。近年は社 会福祉法人渓仁会にも、地方自治体から の福祉施設の運営を求める声が多く寄せ られるようになっています。

そうした地方自治体からの高齢者福祉 のニーズに応えていくために、喜茂別町に おいて新たな特別養護老人ホーム「きもべ つ喜らめきの郷」を2013年6月に開設する ことになりました。定員は80名。完全個室 のユニットケアを提供します。

各ユニットの共同生活室から羊蹄山を

一望できる配置や、周辺環境と調和した外 観デザインなど、美しい自然景観を活かす ように工夫しています。また、地中熱を利用 するヒートポンプ冷暖房の導入や外断熱 工法による使用エネルギーの低減など、地

域の自然環境にも配慮した施設づく りを行っています。

喜茂別町は医療法人渓仁会の診 療圏に含まれています。隣接する札 幌市南区には定山渓病院があり、また、 手稲渓仁会病院のドクターへリの運 航範囲であることから、医療法人と も連携したサービスの提供にもつ なげていく予定です。

[社会福祉法人渓仁会]

慣れ親しんだ地域で長年続けてきた生 活を、そのまま継続していただけるような サービスをめざして、ご利用者さま一人ひと りの思いを大切にしながら、地域に根ざし た温かなケアを提供していきます。



新しい医療・介護・福祉の連携を求めて

~「リハビリテーション・ケア合同研究大会札幌2012」の開催



2012年10月11日~13日にかけて、札幌コ ンベンションセンターを会場に「リハビリテー ション・ケア合同研究大会札幌2012」が開 催されました。大会長を札幌西円山病院 の横串算敏副院長が務め、事務局を院内 に置くなど、同病院が協力を行いました。

3日間の延べ参加者数は2.187人。医師

や看護師、リハビリ職、介護 職など、全国から幅広い職 種の参加があり、講演やシ ンポジウム、各種セミナーや 演題発表など、充実したプ ログラムが実施されました。

大会テーマとなったのが、 「新しい医療介護福祉の連 携をめざして」。これは、団 塊の世代が75歳以上の後

期高齢者になる「2025年問題」に対して 政府が示した、「2025年のあるべき医療・ 介護の姿」に基づくものです。横串副院長 は「地域で安心して生活していくために は地域リハビリテーションの理念と活動が 重要な役割を果たします。政府が求める 医療・介護・福祉の連携強化には、リハビリ

[札幌西円山病院]

テーション・ケアの質の向上が必須で、その ためにもこの大会が担う役割は大きいと考 えていました」と話しました。

大会終了後、参加者からは「他の病院 の職員との情報交換の機会になった」「先 進的な取り組み事例を知ることができた」 といった感想が聞かれました。横串副院長 は「本大会で得た経験を渓仁会が担う保健・ 医療・介護・福祉サービスの向上に活かし ていきたい」と、今後の抱負を語っています。



■車いすの正しい座り方や姿勢を学ぶ機会を提供 ~車いすシーティングセミナーの開催

株式会社ハーティワークスでは、高齢や 障がいなど、さまざまな理由から車いすを 利用されている方が身体に負担をかけず 快適に生活できるように、医療や福祉の現 場に携わる方を主な対象にした「車いす

シーティングセミナー」を開催しています。

「車いすシーティング」とは、利用される 方の体の大きさや身体機能、使用環境な どに合わせて車いすのサイズや機能を調 整し、褥瘡(床ずれのこと)などをつくらず



[株式会社ハーティワークス]

に正しい姿勢で座ることができるようにす る技術のこと。車いすを利用されている方 が、少しでも安楽に生活できるようになり、 また寝たきりになることを防ぐなど、近年は 正しいシーティングによる効果が注目され ています。

2012年2月18・19日に札幌市生涯学習セ ンター「ちえりあ」で開催したセミナーには、 医師や看護師、理学療法士、作業療法士、 介護福祉士のほか、学校教諭や福祉用具 事業者など約120名が参加。株式会社ア クセスインターナショナルの代表であり、自 身も車いすの利用者である山崎康広氏を 講師に招き、「障害児・者と高齢者の車い すシーティングの活用 | と題した研修を行 いました。また、同時に実践セミナーも行い、 シーティングに対する考え方や有効性への 理解を深めていただくための機会を提供 しました。



皆さまの一生に寄り添うために

ステークホルダーとのコミュニケーション



患者さまの声

札幌西円山病院を

手厚いケアとリハビリを受けられる環境が魅力 スタッフの皆さんの熱意にも支えられました。

駅の階段から落ち、脊髄損傷と頭蓋底骨 折を負いました。四肢麻痺の障がいが残った ため、急性期病院から札幌西円山病院に転 院して、リハビリを受けることになりました。

転院時は手足はまったく動かない状態でした。 麻痺を和らげる理学療法のほか、発声練習や 呼吸法の訓練、手の動きをサポートする装具 の製作など、総合的なケアを受けたことで、車 いすに座れるまでになりました。「四肢麻痺だ から何もできない | と尻込みしていましたが、 温かなケアや励ましのおかげで、自分でできる ことの可能性が広がりました。

現在は、障がい者の自立生活を支援する 施設に入所しています。施設を探す際も病院 スタッフの方が必ず付き添ってくれましたし、 着替えや外出の訓練、自助具類の準備など まで、本当にきめ細かなフォローをしてもらいま した。札幌西円山病院には継続的に通院し ていて何かあれば相談もできるので、不安なく 生活しています。

入院していたときに印象深かったのが、ス タッフの皆さんの挨拶や笑顔のすばらしさ。こ れからも私がしていただいたようなケアをずっ と続けていってほしい、と思います。

(2012年8月1日に田中さんが生活されている施設でお話を うかがいました)



退院された患者さま 田中 惠さん



リハビリテーションと老年医学、老年看護が当院の三本柱。 どこよりも質の高い医療を提供することをめざしています。

当院には脳梗塞やくも膜下出血などの脳 血管障害、認知症、神経難病、骨折など、さま ざまな病態(老人症候群)を抱えた患者さま が入院されています。どの病態も療養には長 い時間がかかり、完治は難しい場合がほとん どです。そうした患者さまのQOL(生命・生活・ 人生の質)を少しでも改善し、生活機能の回 復を図るため、当院はリハビリテーションに力 を入れてきました。現在は180名以上と、東北 以北で最多のリハビリ職を擁し、質の高い医 療を提供しています。

なかでも、脳血管障害や脊椎・骨盤・大腿 骨骨折などの患者さまに対する回復期リハビ リテーションは、全国に先駆けた取り組みを 行ってきました。2011年には、それまでの回復 期リハビリテーション病棟を改編・統合するか たちで、リハビリテーションセンターと改称。入 院患者さまへの365日にわたるリハビリテー ションを実現しています。

私は、リハビリテーションとケアの質では、当 院は日本を代表する高齢者医療の拠点であ ると自負しています。優れたリハビリとケアの スタッフが患者さまのために力を発揮し、さら にそこで得た知識やデータは医療の向上の ためにフィードバックしていくことも私たちの役 割だと思います。

良い医療を提供するには、患者さまはもち ろんですが、病院で働くスタッフのQOLの質 にも目を向けることが大切です。そのため当 院では職員の教育にも力を入れています。一 人ひとりが高いビジョンを持って仕事に臨める よう、働く環境の改善もめざしています。

患者さまの「今」を大切にしながら、あらゆ る職種が連携し、支えていく。患者さまとス タッフの両者が幸せになることが、良い医療 の実現につながるのだと考えています。

5th Life Stage 人生の終末・ ターミナル期 ^{職員インタビュー} **5**

思いやりのあるケアを実現したい心を通わせながら、患者さまの安らぎになること。

手稲家庭医療クリニックの2階にあるセカンドケアハウスは、主にがんによって予後の限られた患者さまのためのホスピスケアを受け持つ入院病床です。廊下や壁には四季折々のディスプレイが飾られ、さまざまな行事を開催するなど、家庭的で温かな環境のなかで過ごしていただけるように工夫を凝らしています。こうした取り組みを支えているのが、ボランティアさんの存在です。セカンドケアハウスでは現在15名のボランティアさんが、患者さまのケアを心身両面においてサポートしています。

「今日のご気分はいかがですか」。手稲家 庭医療クリニックの入院病床の一室で、患者 さまの手をマッサージしながら楽しそうに会話 を交わすのは蓮本祐子さん。ボランティアコー ディネーターとして、活動の企画や運営、患者 さまからのご要望への対応、スタッフの調整・ 管理などを担当しています。

「患者さまの状況を把握するために、朝の 申し送りにも参加しています。マッサージなど は体調に配慮する必要があるので、ボラン ティアさんには患者さまの様子を説明してから、 ケアに入ってもらうようにしています」

連本さんは、1998年の手稲渓仁会病院のボランティア組織の発足以来、病院ボランティアに携わってきました。多くの患者さまとふれ合ったことや、自身が父親を亡くした時の経験から、次第に「ターミナルケアに関わりたい」という思いが強くなったと言います。3年前に手稲家庭医療クリニックが開設されたとき、

「コーディネーターに」という勧めを受け、ホスピスでの挑戦が始まりました。

セカンドケアハウスでは、平日の昼間、ボランティアさんが常駐して、患者さまの話し相手やディスプレイ作り、行事の準備などをしながら過ごします。また、マッサージのように直接ふれ合うコミュニケーションも大切にしています。「気持ちがいい、と喜ばれる方が多く、手で触れるケアの効果を実感しています」

歌が好きな患者さまのためにと、たくさんのボランティアさんが集まり、一緒にカラオケに行ったこともありました。その方が亡くなった後、ご遺族から「あんなに幸せな人はいない」と感謝されたことが小に残っていると言います。

患者さまの思いをくみ取りながら、心を和ませる活動を続けるのが理想、と蓮本さん。「気 負い過ぎず、ゆっくりと、長く」。傍らに寄り添う 存在であることをめざしています。



最期のときまで患者さまの思いを尊重したケアを ~終末期医療への取り組み

長期にわたって入院される高齢の患者 さまが多い定山渓病院では、「望ましい終 末期医療とは」というテーマについて、病 院全体でそのあり方を考えてきました。 1997年から2年間行われた「ターミナル検 討会」では、医師と看護師の役職者が終 末期を迎えられた患者さまへの対応や、亡 くなられた後にはその方へのケアの事例を 話し合い、意見の共有化を図ることで、終 末期医療に取り組む体制を築きました。

1999年からは「ターミナルケアカンファレ ンス |を行い、終末期に関わる全職種が個 別の患者さまについて、ご本人やご家族が 望まれるターミナルケアを検討しています。 また、患者さまが亡くなられて2週間以内に、

院長を交えた「死亡後カンファレンス |を必 ず実施し、提供したターミナルケアについ て反省や評価を行っています。

同病院の終末期に関する取り組みで最 も特徴的なのが、「終末期の意思確認」で す。患者さまとご家族の要望を確認し、思 いを共有しながらターミナルケアを提供す るために、2004年から始まりました。担当医 師から十分に説明を行い、意思の疎通が 図られた患者さまとご家族に、希望する終 末期のケアを選択できるようにしたシートに ご記入いただいています。

こうした取り組みは、患者さまの生命と生 き方を尊重し、ご本人にもご家族にも満足 していただける終末期医療を提供するた

[定山渓病院]

めのものです。社会の高齢化が加速する なか、「定山渓病院方式」と呼ばれる終末 期医療への取り組みに、全国から注目が 集まっています。



音楽や歌声で、心癒やされるひとときを提供 ~ロビーコンサートの実施



札幌西円山病院では2006年12月から、 月例のロビーコンサートを実施しています。 入院患者さまやご家族に、音楽を聞きな がら楽しいひとときを過ごしていただき、 長期の入院生活のなかでも心の安らぎを感 じていただければ、という思いから始められ ました。

コンサートの内容は季節感を取り入れ、

ピアノやバイオリンの演奏、声楽、ハワイアン など、毎回バラエティに富んだプログラムを 提供しています。演奏は病院のスタッフ、ボ ランティアの方のほか、患者さまのご家族な どが出演されることもあります。

多くの方に楽しんでいただけるように工 夫を重ねてきたことで、皆さまからも好評を いただき、今ではコンサートを楽しみにされ

[札幌西円山病院]

る患者さまやご家族も増えています。会場 がいっぱいになることもあり、同病院の名物 行事として親しまれています。

こうしたコンサートは、患者さま同士やご 家族、スタッフとのコミュニケーションの場に もなっています。療養環境や患者さまの生 活の質の向上にもつながる、大切なサービ スの一つと位置づけています。

同病院以外でも、定山渓病院や手稲渓 仁会病院、社会福祉法人の各施設でも、 音楽に親しむコンサートを開催しています。 こうした取り組みを通して、少しでも患者さま に癒やしの時間を提供したいと考えています。



|人|生|の|終|末|・|タ|-|ミ|ナ|ル|期|を|支|え|る|渓|仁|会|グ|ル|-|プ|の|活|動|

ご利用者さまの生命に寄り添いながら

~施設での看取りへの取り組み



高齢人口の増加や家族構成の変化、ラ イフスタイルや価値観の多様化など、さまざ まな社会事情を背景に、施設での看取りを 選択される方が増えています。社会福祉 法人渓仁会でもご利用者さまの看取りに 対応する新たな取り組みが必要になって います。

同法人では、札幌市内と岩内町におい て4つの介護老人福祉施設(特別養護老 人ホーム)を運営しています。2013年には 新たに喜茂別町での開設も予定しており、 福祉ニーズは増え続ける傾向にあります。

こうした施設は要介護4以上と認定された 方を優先的に受け入れているため、医療 依存度の高いご利用者さまも多く、人生の 最期を迎えられたとき、どのようなケアを提 供すべきか、という課題が出てきました。

星行夫法人本部長は、「看取りについ ては、それぞれの現場でご本人やご家族 の要望をとらえながら対応しているのが現 状です。近年は、"施設を終の住処に"と いうニーズが高まっており、できるだけそう いう声にはお応えしていきたい」と話します。

各施設ではこれまで、ご利用者さまの容

[社会福祉法人渓仁会]

態によって、提携する 医療機関に治療や入 院を依頼してきました。 こうした対応はこれか らも大きく変わるもので はありませんが、ご利 用者さまやご家族が



星行夫法人本部長

望まれるサービスを提供できるように、あら ゆる職種が連携しながら一致したケアを柔 軟に行える体制づくりに取り組みたいとし ています。

「これからは、看取りも選ばれるサービス の一つになっていくはず。試行錯誤を続け ながら、施設での看取りのあり方を追求し ていきたい。ご利用者さまにとっても、ケアを 提供する職員にとっても、より良い環境をつ くっていきたい |と星法人本部長は展望を 語ります。



「施設で迎える人生の最期も一つの選択肢に ご利用者さまとご家族の気持ちを思いやり、希望に沿った個別のケアを

介護老人福祉施設 西円山敬樹園 施設ケア部 部長

依本 正恵



最近は、「最期をどう迎えるべきか」ということを、ご 自分の意思で決められる方が増えています。私たち はその意思をできるだけ尊重したケアを提供したいと 考えています。

今年当施設で亡くなられたご利用者さまは、容態 が悪くなられた後も「病院には行かないよ」と医療的 な処置をしない方針を希望され、亡くなる少し前まで 経口で食事を摂られていました。ある朝、夜勤を担当 した介護職員に「世話になった」と告げてから息を引 き取られました。最期はできるだけ多くの職員でお見 送りをしました。ご自分の意思を貫かれた生き方に、 たくさんのことを学ばせていただきました。

「最期まで施設で暮らしたい」と希望される方は、 これから確実に増えてくるでしょう。そうした要望に応 えるには、職員もまだまだ勉強しなければならないこと がたくさんあります。経験を積み重ね、より良いケア のあり方を追求していきたいと思っています。

何より大切なのはご利用者さまやご家族の気持ち。 一人ひとりの要望に個別に対応することを重視しな がら、満足していただけるケアをめざしています。



皆さまの一生に寄り添うために



家族の思いを一つ一つ受け止めてもらい、 父も幸せな時間を過ごすことができたと思います。

2011年の末に父が手稲渓仁会病院で肺 がんの手術を受け、無事に成功したので、そ の後は自宅近くの病院で療養していました。 しかし体力が落ちたこともあって経過が思わし くなく、先が見えない絶望的な思いで手稲渓 仁会病院に相談しました。そこで紹介された のが定山渓病院でした。スタッフの方々の明 るい対応や真摯に話を聞く姿勢など、この病 院なら安心して父を任せられると思いました。

転院すると父の状態は安定して食欲も出 るようになりました。リハビリスタッフが行うリラ クセーションの関わりに、父は「気持ちがいい」 と喜んでいました。看護師さんたちも気にかけ てくれて、小さな変化でも報告してくれたり、「が まんしないで何でも言って」と話を聞いてくれ たりしました。皆さんの温かな思いやりのおか げで、家族にとって幸せな時間を過ごすことが できました。

今年の7月になって、いよいよ食事が食べら れなくなったとき、主治医の先生から終末期 に関する説明があり、そこで希望するケアを しっかり伝えることができました。家族の気持 ちを聞いてもらえたことが何よりでした。

父が亡くなった後、看護師さんたちが病室 に来てお別れをしてくれました。父も穏やかな 顔をしていて、きっと安らかな気持ちだったの だと思います。父の容態だけでなく、母や私の 心も大切にケアしてくれたスタッフの方々にと ても感謝しています。



(2012年8月29日に定山) 渓病院にお越しいただ きお話をうかがいました)

ご家族の声

定山渓病院で 看取られた方の ご遺族 藤野 智子さん



院長メッセージ

中川翼

患者さまやご家族と心を通い合わせながら 生命と意思を尊重するターミナルケアをめざして。

高齢社会となったこと、また急性期病院で の治療を受けた後に重い症状で療養される 方の増加などから、当院のような慢性期医療 機関で亡くなる患者さまが増えています。当 院では1990年代の後半から、最適な終末期医 療を提供するための取り組みを行っています。

現代は胃ろうや点滴による栄養摂取、人工 呼吸器の導入など、生命を維持するためのさ まざまな医療技術があります。そうした技術が 進歩するにつれ、終末期にどのようなケアを 選択するか、ということ、つまりは死のあり方を 選択できるようになってきました。

当院では患者さまやご家族に終末期医療 について考えていただき、要望をできるだけ反 映したケアを行うため、「終末期の意思確認 | (27ページ参照)などを通じて、意思の疎通を 図ってきました。それによってケアの方針を決

定し、全スタッフが一貫したケアを行うことで、 安心していただける終末期医療を提供してい ます。もちろん考えが変わることもあるでしょう。 そのため、密にコミュニケーションをとりなが ら、そのときの思いをくみ取ることを大切にし ています。

私は以前から、臓器移植カードのように、自 分が希望する終末期のあり方についても意 思表示ができるようにしたら、と考えていました。 近年は立法化の動きも出ていますが、終末期 に対する考えはさまざまであり、一本化できる ものではないことも当然です。しかし、誰もが 良質な終末期医療をめざしていこう、と考えて いるのは同じはず。「安らかに、苦痛のない最 期を という共通の願いに応えるため、私たち は全力でより良い終末期医療のあり方を追求 しています。

■ご自宅で生活される方に充実した看護とリハビリを

~訪問看護・訪問リハビリの取り組み

[渓仁会グループ]

障がいや病気などを持つ方がご自宅で の暮らしを続けられるように支援する、訪 問看護・リハビリへのニーズが高まってい ます。渓仁会グループでは、訪問看護ステー ションや訪問リハビリテーションの看護師・ リハビリ職種がご自宅にうかがい、ご利用 者さまの身体面と生活面へのきめ細かな サポートを行っています。

訪問看護は、主治医の指示のもと、看 護師がご自宅で療養生活を送られている 患者さまの症状の経過観察や体調確認、 医療サービスやリハビリテーションなどを 行います。訪問リハビリテーションは、ご利 用者さまがご自宅で暮らしやすくするため に、専門のリハビリスタッフが日常生活に 必要な身体機能の維持・改善のための



リハビリを提供します。

ご自宅で暮らしながら療養生活 やリハビリテーションを続けられる 方の増加に伴い、訪問看護・リハビ リに対するニーズも増えています。 地域の皆さまの期待に応え、満足 していただけるサービスを提供で きるように、これからも訪問看護・リ ハビリを充実させていく考えです。



Olumn 訪問リハビリテーションさくらの活動

「訪問リハビリテーションさくら」は、札幌西円山病院の訪問リハビリテーション科として、新生 児から高齢者まで、幅広い年代のさまざまな障がいを持つ方を対象に、ご自宅でのリハビリテー ションを提供しています。特徴は、小児リハビリテーションのご利用者さまが多いこと。子どもの 訪問リハを行う施設は少ないため、札幌市内全域から約170名もの方が登録されています。



長澤美帆科長

作業療法士と理学療法士に加え、言語聴覚士がいることも特色です。 長澤美帆科長は、「生活動作面、身体面、コミュニケーション面と、3職種 それぞれの専門的アプローチをできるのが強み。とくに言語聴覚士は摂食・ 嚥下や言語コミュニケーションを受け持つため、社会参加を促す上でも 大きな役割を果たします | と言います。

「その方の人生や生活を考えたケアができてこそ、リハビリ職種が存 在する意味があると思います。訪問リハビリテーションならではの柔軟な サービスにも取り組んでいきたい」と長澤科長は意欲を見せています。

皆さまに医療の情報をわかりやすく伝える取り組み

■~「はとはあと」評価認定

2011年9月1日に手稲渓仁会病院は、情 報公開レベル優良医療施設として、「はと はあと」評価の4/Stage-1の認定を受けま した。「はとはあと」とは、病院広報・情報 公開評価審査会が行う医療施設情報評 価の仕組みで、どれだけ病院(施設も含む) の取り組みや医療情報を外部に正しく発 信しているかを、さまざまな項目で評価し、 そのレベルを認定するものです。NPO法 人日本HIS研究センター病院広報・情報 公開評価審査会によって認定され、"医 療情報の健康診断"とも言われています。

同病院は、患者さまをはじめとする地域

の方々や連携医療機関、職員などに対し、 ホームページや広報誌など多くのツール を通じて情報を発信しています。また、わ かりやすく伝えることを心がけ、読みやす さや理解しやすさにも留意しています。そ うした面が「広報活動に積極的に取り組 んでいる」と評価され、今回のStage-1認 定になりました。渓仁会グループでは、ほ かにも渓仁会円山クリニックとコミュニティ ホーム白石がStage-1の認定を受けてい ます。

「はとはあと」認定はまだ新しい仕組み ですが、今後は多くの病院や施設が評価

[手稲渓仁会病院]

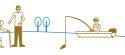
認定を受けると思われます。渓仁会グル ープの病院・施設ではさらに上のステージ をめざして、広報活動のレベルアップに取 り組んでいきます。













■楽しいイベントを通して健康づくりをお手伝い

~「みんなの健康フェスタ2012」開催

渓仁会グループは2009年から毎年秋に、市民公開イベントを開催してきました。2012年度は「みんなの健康フェスタ2012」を9月23日に開催。地域密着の視点から、手稲渓仁会病院に近いJR手稲駅前の「札幌市手稲区民センター」を会場に、手稲家庭医療クリニック、コミュニティFM三角山放送局との共催でイベントを実施しました。

当日は、実行委員長である手稲家庭医療クリニックの小嶋一院長の講演からスタートし、全日本ノルディック・ウォーク連盟専門技術委員の江川淳氏(1988年カルガリーオリンピック出場)、北海道盲導犬協会の和田孝文氏の講演に続いて、渓仁会円山クリニックの健康運動指導士が、肩こりや腰痛を緩和する体操を紹介。最後は、クッキングキャスターの星澤幸子先生による「食と身体の美味しい関係」と題して、楽しいトークショーが開催されました。

体験・展示・相談ブースでは、渓仁会円

山クリニックの専門スタッフによる骨密度の 測定や運動測定、手稲家庭医療クリニックのスタッフによる在宅医療の啓発、手稲 渓仁会病院でのドクターへリ見学、株式会 社ハーティワークス提供の健康グッズ体験 など、楽しみながら健康について理解を深める催しが行われました。また、手稲渓仁会

[渓仁会グループ]

デイサービスのご利用者さまによる野菜直 売も行われ、来場者の人気を集めていました。

こうしたイベントを通じて、医療・保健・福祉への関心を高め、地域の健康づくりに貢献できるように、渓仁会グループでは皆さまからの声にも耳を傾けながら、啓発活動を続けていきます。



|まだ使える車いすを必要とする人のもとに

~車いすの寄贈

定山渓病院は2009年から、使われなくなった車いすを、NPO法人「飛んでけ!車いす」の会(札幌市中央区)に寄贈する活動を続けています。同会は、全国からリサイクル可能な車いすを集め、発展途上



国などで必要とする人のもとに届ける活動を行っています。引き取られた車いすは、 同会で修理・整備を行った後、さまざまな 国へ送られます。

3回目となった2011年12月には、患者さ

まから同病院に寄贈された 車いすを中心に、院内で使われなくなった車いすとあわせて15台を寄贈しました。2012年5月には同会より感謝状が届き、今回寄贈した車いすはラオス人民民主共和国のラオス障がい者女性開発センターとキューバ共和国で再利用されているとのことでした。

[定山渓病院]

こうした活動は患者さまにも広く知られており、毎回、温かなご好意が寄せられています。窓口となっている同病院のサプライサービス課では、「必要とする方に使っていただけるのは望ましいこと」として、これからも継続していく方針です。

同病院はこのほかにも、アルミ製のリングプルを一定量集めて車いすと交換し、地域の公共施設に寄贈する活動や、ペットボトルのキャップを収集して、北海道内の難病を持つお子さんを医療ケア付きキャンプに招待するための寄付金に換える運動なども行っています。患者さまやご家族からもご協力をいただきながら、社会に貢献する取り組みを続けています。

地域の「ずーっと。」を共に支える医療連携の取り組み

渓仁会グループは、地域の医療・福祉を持続させ、未来へとつなげるため、 グループ外の医療機関や福祉機関などとの連携を推進しています。 確かなネットワークを築くことで、地域にある医療・保健・福祉のさまざまな資源を十分に活用し、 患者さまやご利用者さまにとって最適なサービスの提供や 医療・保健・福祉の質の向上に貢献したいと考えています。

地域の医療機関と手を取り合い、共に未来をめざす 手稲渓仁会病院の医療連携システム

医療連携とは、地域にあるさまざまな医療機関がそれぞれの役割(機能)を明確にし、得意分野を活かしながら 互いに協力・連携して治療やケアにあたる医療体制を言います。患者さまは効率的かつ適切な治療が可能になる と同時に、各医療機関は機能を十分に発揮できるというメリットがあります。

手稲渓仁会病院は開院以来、医療連携への取り組みを推進してきました。さまざまな医療機関との提携を進めることで、主に入院や手術を伴うような重症な患者さまに対応する急性期総合病院として機能分化を図りつつ、同病院での治療前から治療後の回復期などまで、スムーズに最適な医療サポートを行うことが目標でした。また、他の医療機関とのネットワークによって情報交換や人材交流などを活性化することで、地域全体の医療の質の向上にもつなげたいと考えていました。

現在、同病院の医療連携システムは多くの医療機関の ご理解とご賛同をいただき、大きく発展しています。提携医 療機関登録数(表1)が順調に増加しているほか、さまざま な地域連携パス*(表2)の運用にも取り組んでいます。また、ITを活用したID-Link*導入のための研究会「Total communication and Medical Network using Information Technology in Hokkaido」を立ち上げ、地域の医療機関に向けた勉強会などを実施。手稲区を中心に石狩市や小樽市の医療機関にも加盟・接続いただき(表3)、2012年3月からID-Linkの運用がスタートしています。将来的には、北海道の他の地域で運用されているID-Linkと接続することで、全道的な医療連携システムの構築も視野に入れています。

手稲渓仁会病院はこれからも地域の医療機関との連携に力を入れ、患者さまと医療者側の双方にとってより良い医療体制の構築をめざしていきます。

※地域連携パス/急性期から回復・維持期までの治療全体を示した診療計画のこと。急性期病院から転院先の病院に渡すことで患者さまのケア情報を共有し、一貫した治療を行うことができる。

※ID-Link/医療機関同士をインターネット回線で接続し、複数病院の診療情報を一括して閲覧できるようにすることで、検査データや処方情報、画像データなどのやり取りを可能にし、緊密な医療連携体制をサポートするシステム。

表1 提携医療機関登録数(2012年7月1日現在)

病院数	67
クリニック	170
合計	237

表3 Total communication and Medical Network using Information Technology in Hokkaido 加盟医療機関数(2012年7月18日現在)

7511222227777777777777		(
	病院数	15(うちID-Link接続済み医療機関13)
	クリニック	28(うちID-Link接続済み医療機関26)
	合計	43(うちID-Link接続済み医療機関39)

■表2地域連携パス一覧表

一次2.20%产15, 2、 夏火		
パス種別	連携医療機関数	
大腿骨近位部骨折	16 (2012年8月1日現在)	
脳卒中	29(2011年12月1日現在)	
前立腺がん(検査・治療連携)	13(2012年7月1日現在)	
胃がん(術後フォローアップ)	46 (2012年8月1日現在)	
胃がん (TS-1* 内服) ※抗がん剤	42 (2012年8月1日現在)	
大腸がん	45 (2012年8月1日現在)	
肝臓がん	42 (2012年8月1日現在)	
乳がん	34 (2012年8月1日現在)	
肺がん	33 (2012年8月1日現在)	













当院と手稲渓仁会病院との提携関係

は長く、今のように医療連携が重視され

る以前から、当院にない診療科の患者さ

まなどをご紹介してきました。手稲渓仁会

病院と医療連携を進めた理由の一つが、

患者さまを引き受ける際、必要なデータ類

を提供してくれたことでした。それによって

医療の無駄を省き、スピーディに治療を

継続できました。現在は「脳卒中パス」な

どの地域連携パスが運用されていますが、

手稲渓仁会病院は早期から他に先駆け

もちろん、提携関係を結ぶにあたり最も

重視すべきは医療の質です。提供してい る医療の内容、手術などの実績、そして

てそうした取り組みを始めていました。



提携医療 機関の声

「手稲渓仁会病院には"王道"を行きながら 日本一の医療機関をめざしてもらいたい。 それが地域医療全体の底上げにつながるはず

医師をはじめとするスタッフの姿勢。総合的に判断して、手稲渓仁会病院は患者さまを安心してご紹介できる医療機関であると信頼しています。

難があるとすれば、患者さまが集中して 待ち時間が長くなりがちなこと。それを防 ぐために、最近では先に別の病院を紹介 して検査を受けてもらい、手術などの高度 な治療が必要になった段階で手稲渓仁 会病院に移ってもらうようにしています。 そうした医療機関の機能分化を進めることで、地域の医療全体をうまく活用することになると思います。

私が手稲渓仁会病院に期待するのは、 日本一の病院をめざしてほしい、ということ。 医療法人秀友会理事長 **藤原 秀俊**氏



 Σ

ሰ ሎ **ሰ**

쇼

革新的な挑戦を続けてきたのだからこそ、これからもぜひ正攻法で堂々と「王道」を進んでいただきたい。そういう病院がこの地域にあるというのは、患者さまにとっても医療者にとっても大きなメリットになります。私たちもそのレベルについていくように努力することで、医療の質の向上にもつながると考えています。



TOPICS 地域の医療・保健・福祉サービスを結びより良い在宅医療を実現する仕組みづくりを――手稲家庭医療クリニックの取り組み

厚生労働省が2012年より本格的な取り組みを開始した「地域包括ケアシステム」。 その構築に向けたモデル事業である「在宅医療連携拠点事業」** に手稲家庭医療クリニックが採択され、手稲区における在宅医療のモデルづくりに取り組むことになりました。

これまでも同クリニックは2009年の開設時から、医療・保健・福祉をまたいだサービスの実現に向けて活動してきました。地域包括支援センターに対する医療的な助言や支援、勉強会の協力、手稲区在宅ケア連絡会への積極的参加、在宅医療を受けている患者さまやご家族への24時間電話対応など、地域の医療・保健・福祉を結び合わせながら、必要とされる方に最適なサービスを提供できる体制づくりを行ってきました。こうした実績が評価され、今回の採択に結びつきました。

在宅医療連携拠点事業の指定によって、同クリニックは手稲区役所、札幌市手稲区地域包括支援センターと共に、地域における在宅医療を提供するための仕組みづくりに取り組むことになりました。現在、2カ月に1度開催されている手稲区在宅ケア連絡会を中心に、医療・保健・福祉を担う行政機関・医療機関・介護施設(事業者)が、緊密に連携できるシステムをどのように構築するかについて検討し、得られたデータを可視化するなどしながら、全国に先駆けた事例づくりに臨んでいます。



※在宅医療連携拠点事業/病気を持ちながらも、可能な限り住み慣れた場所で自分らしく過ごす「生活の質」を重視した医療ニーズの高まりから、在宅医療を提供する機関などを連携拠点として、多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供をめざすためのモデル事業。2012年度は全国で105カ所が採択されている。



グループ全体の規模がわかるものから、法人ごとのデータまで、渓仁会グループの"今の姿"が見える数字を集めてみました。

渓仁会グループ施設の使用総敷地面積

社会福祉法人 91,147.59m²

医療法人 65,898.2m²

(借受、一部借受、持分割合等含む)

渓仁会グループの事業所・施設は道内各地に広がりを見せています。 総敷地面積を北海道日本ハムファイターズの試合でおなじみの札幌 ドーム屋内アリーナの面積に換算すると、約11個分の面積になります。

●渓仁会グループの総事業所数

渓仁会グループで働く職員の総数

4,067人 ※2012年10月現在

医療法人

●総ベッド数

1,827床

手稲家庭医療クリニックの19床から、札幌西円山病院の866 床まで、提供する医療サービスやニーズに合わせたベッド数を 備えています。多くのベッドを擁する医療グループとして、社会 からの期待に応えながら、サービスの充実を図っています。

●医師の総数

294_k

1ベッド当たりの医師数は0.16人と、全国平均並ですが、急性期 医療が中心の手稲渓仁会病院の医師数だけを見ると、1ベッド 当たり0.4人となり、大きく全国平均を上回っています。

看護職の総数

●リハビリ職の総数

■1日あたりの外来患者数

■1日あたりの入院患者数

1,318人

※2012年10月現在 (保健師・看護師・助産師・准看護師の 総数、パート・嘱託等含む)

328_×

※2012年10月現在 (理学療法士・作業療法士・ 言語聴賞十•視能訓練十) 1,638人

※2011年度実績、 医療法人全体の平均 1,748人

医療法人全体の平均

社会福祉 法人

●施設の年間入所者数

260,487人

※2011年度実績、 社会福祉法人全体の延べ人数総計 ●年間利用者数

※2011年度実績、社会福祉法人全体の延べ人数総計

通所サービス (通所介護・通所リハ)

147,799人 81,092人

財務

●2011年度の 渓仁会グループ総売上げ

> 38,201 (単位:百万円)

経常収益 32.631 医療法人 渓仁会

社会福祉法人 渓仁会 経常収益 5.067 経常利益 人 55

売上高 291 売上高 212

電気使用量(CO2換算)

都市ガス13A使用量 (CO2換算)

●車両燃料(CO2換算)

環境

※2011年度/医療法人

7,078.86t 2,292.57t

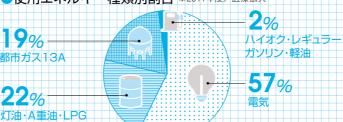
※2011年度/医療法人

※2011年度/医療法人 (ハイオク・レギュラーガソリン・軽油)

●その他燃料(CO2換算)

2.761t (灯油·A重油·LPG)

●使用エネルギー種類別割合 ※2011年度/医療法人



省エネルギーの推進

総使用量の2010年度比

0.1%增

※2011年度/医療法人

環境活動

●リングプル収集(渓仁会グループ)

約**3.000**kg ※2012年9月現在

自動販売機や休憩スペース等に 収集容器を設置して、リングプルの 収集を行っています。690kgでアル ミ自走式車いす1台と交換すること ができます。これまでに3台の車い すを公共施設に寄贈できました。

●リサイクル収益金によるポリオワクチン数

(手稲渓仁会病院)

4,380 ※2011年11月まで

ペットボトルキャップを回収し、リサ イクル収益金を世界の子どもたち へのポリオワクチン送付資金としま した。2011年12月以降は、東日本 大震災への寄付金と、障がいを持 つ北海道の子どもたちの医療ケア 付きキャンプ招待費用に活用しま した。

●おたるドリームビーチ清掃活動参加者 (渓仁会グループ)



地域環境に重点を置い た活動として、2008年度 にスタートした清掃活動。 実施7回目となった2012 年は、グループ職員やそ の家族、取引先の方など、 132名が参加し、砂浜の ゴミ拾いを行いました。



こうした活動以外にも、各施設において、環境改善活動やエコ意識の向上を図っています。



渓仁会グループ施設運営概要

渓仁会グループでは、地域の皆さまに安心と満足を提供することを使命と考え、

質の高い保健・医療・福祉のトータルサポートの提供にグループ全体で努めています。

皆さまに愛され、信頼される病院・施設づくりのために、マネジメントの徹底を図り、

より安定的にご利用いただける組織運営を進めてまいります。



渓仁会グループマップ



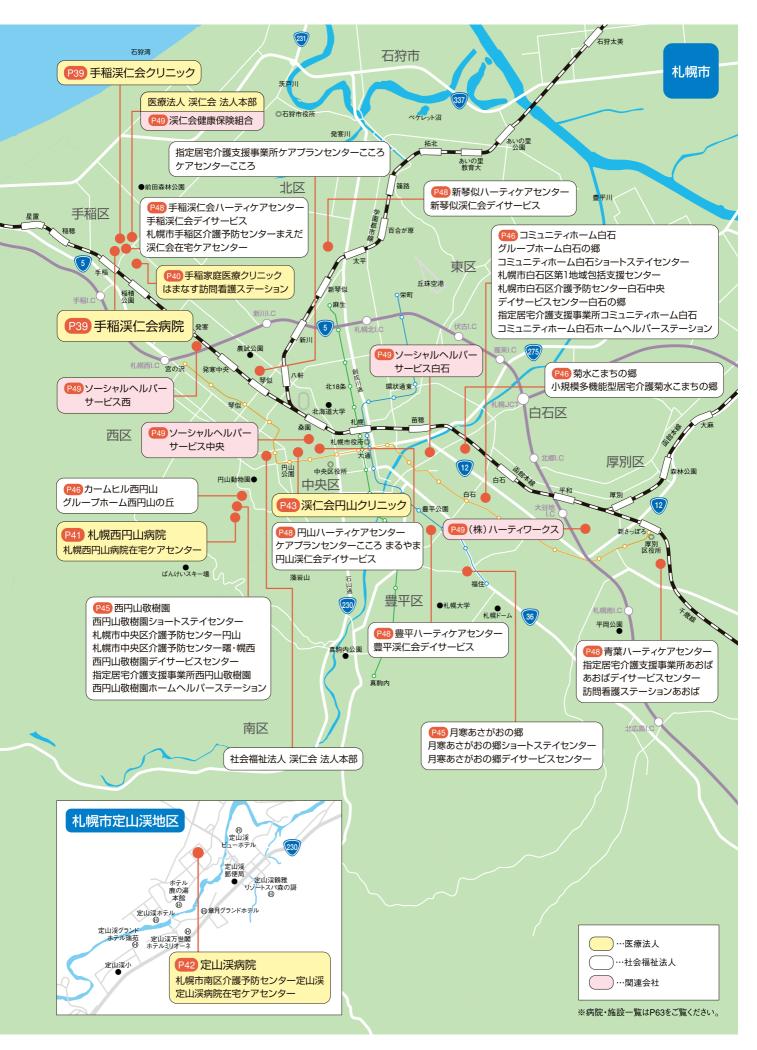












手稲渓仁会医療センター

TEINE KEIJINKAI MEDICAL CENTER



2/\	+
ïΠί	9

1987年 12月 手稲渓仁会病院開院

1988年 7月 救急病院指定 1990年 3月 総合病院承認

1997年 4月 厚生省臨床研修病院指定

1998年 4月 メディカル手稲開設

1999年 7月 開放型病床承認

2000年 5月 手稲渓仁会クリニック開院 2001年 2月 ISO9001審査登録

2001年 4月 北米方式臨床研修システム導入

2005年 3月 救命救急センター指定

4月 ドクターヘリ正式運航開始

9月 日本医療機能評価機構認定

2006年 4月 DPC対象病院指定

2007年 5月 救命救急センター開設

11月 地域連携福祉センター開設 脳卒中ケアユニット開設

12月 外来化学療法室開設

2008年 4月 小児NIVセンター開設 (2012年4月小児在宅医療・

人工呼吸器センターに改称) がん治療管理センター開設

2009年 4月 地域がん診療連携拠点病院指定

10月 手稲家庭医療クリニック開院

2010年 7月 NICU開設

2011年 11月 地域災害拠点病院指定

2012年 10月 地域医療支援病院 承認

『渓仁会病院

〒006-0811 札幌市手稲区前田1条12丁目1番40号 TEL 011-681-8111 http://www.keijinkai.com/teine/



札幌市の北西部における基幹病院として、 高度な急性期総合医療を提供しています。 医療サービスの質だけでなく、機能面・設備 面でも全国に先駆けた取り組みを行い、地域 医療の発展に貢献しています。

2011年8月には北海道で初となる手術支援 ロボット「da Vinci」を導入しました。今年4月か らは、前立腺がんの全摘手術において健康保 険の適用を受け、順調に稼働しています。また、

より幅広い患者さまへの呼吸器ケアの提供と小児在宅医療の支援を目的に、「小児 NIVセンター」を「小児在宅医療・人工呼吸器センター」と改称し、活動を広げています。

現在はさらなる機能強化をめざし、具体的なプロジェクトがスタートしています。病 床の増床や最先端の医療機器の導入、新部門・センターの開設などを順次進めてい く予定です。これからも地域の医療を守るために、提携医療機関とのネットワークを重 視しながら、皆さまに信頼していただける医療体制の構築に力を注いでいきます。

DATA

●病尿	未数 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・・550床
内	救命救急センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· • • 19床
	ICU(集中治療室) ************************************	•••12床
	SCU(脳卒中ケアユニット)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	••• 9床
	NICU (新生児特定集中治療室) · · · · · ·	•••3床
	小児入院医療管理料算定病床 ******	· • • 25床

●診療科目

内科·呼吸器内科·循環器内科·消化器内科·外科·呼 吸器外科·心臓血管外科·整形外科·脳神経外科·形 成外科・精神保健科・リウマチ科・小児科・皮膚科・泌 尿器科・産科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテー ション科・麻酔科・歯科・歯科口腔外科・小児歯科・血 液内科·腎臓内科·消化器外科·頭頸部外科·放射線 診断科·放射線治療科·病理診断科·救急科·腫瘍内科

●主な特徴

厚生労働省指定 臨床研修病院 厚生労働省指定 地域がん診療連携拠点病院 北海道指定 地域災害拠点病院(地域災害医療センター) 北海道指定 地域医療支援病院

2011年度 診療実績

●1日平均入院患者数・・・・・・・ 522名 ●月平均新入院患者数・・・・・・・ 1,347名 ●平均在院日数······10.8日 ●病床稼働率・・・・・・・・・・・・ 95.0% ●紹介率・・・・・・・・・・・・ 61.0%

●1日平均外来患者数・・・・・・・1,449名

- ●逆紹介率・・・・・・・・・ 35.6% ●救急患者数・・・・・・・・・・ 24,467名 (内救急車/ヘリ搬送患者数・・・・4.172名) ●クリニカルパス種類・・・・・・・ 242種類
- ●ドクターへリ要請件数・・・・・・・ 624件
- ●ドクターヘリ出動件数・・・・・・・445件 ●年間手術件数・・・・・・・ 7,740件
- ●年間消化器内視鏡検査数・・・・20,134件 ●年間分娩件数・・・・・・・ 525件
- ●NICU稼働率······ 101.4%
 - ●クリニカルパス施行数・・・・・・ 6,955件
 - ●クリニカルパス施行率・・・・・・・ 49.0%

職員状況



医師219人(研修医・歯科医含む)、看護師・准 看護師652人、薬剤師33人、リハビリスタッフ41人、 臨床放射線技師29人、臨床検査技師30人、臨 床工学技師16人、管理栄養士・栄養士11人、他 医療技術職18人、社会福祉士17人、経営管理 部門職185人、看護助手95人、その他30人

治療と ケア

『渓仁会クリニック

〒006-0811 札幌市手稲区前田1条12丁目2番15号 TEL 011-685-3888

手稲渓仁会医療センターの外来部門を受け持つク リニックです。現在は12の診療科において、本院である 手稲渓仁会病院と連動した質の高い医療を提供して います。外来診療に特化することで、患者さまにはよりス ムーズに受診していただける体制を築いています。今後 も機能面の強化や設備の見直しなどを図りながら、地域 の皆さまに支持される医療サービスをめざしていきます。



2011年度 診療実績

●1日平均外来患者数・・・・・・684名

DATA

- ●病床数 無床
- ■診療科日 内科・呼吸器内科・消化器内科・ 循環器内科・リウマチ科・小児科・外科・形成 外科,皮膚科,眼科,血液内科,腎臟内科
- ●主な特徴 ISO9001認証(審査登録)
- ●職員状況 職員数:95人 医師5人.看護師・ 准看護師31人、薬剤師2人、その他57人

-稲渓仁会医療センター



家庭医療クリニック

〒006-0812 札幌市手稲区前田2条10丁目1番10号 TEL 011-685-3920 http://www.keijinkai.com/teine-karinpa/



幅広い年代・疾患に対応する外 来診療と、主にターミナル期の患者 さまのケアを行う入院病棟、在宅で の訪問診療(訪問看護ステーション 併設)という複合的な機能を持つ施 設です。家庭の"かかりつけ医"と して、地域に根ざした医療を実践し ています。

また、未来の地域医療を担う人材の育成も目標の一つとして掲げています。日 本では数少ない家庭医の育成を行っており、全国から研修医が集まってきています。 来年度からは、新たに地方での医療活動を展開するプロジェクトも計画しており、 さらに研修内容を深化させる予定です。

今年度は、厚生労働省の「平成24年度在宅医療連携拠点事業」の指定を受け、 地域における在宅医療のモデルづくりにも取り組んでいます。他の医療機関や 福祉施設、行政機関などと連携しながら、地域の皆さまが安心して暮らすことが できる在宅医療のあり方を追求しています。

DATA

- ●開設 2009年10月
- ●診療科目 内科、小児科、産婦人科
- ●病床数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19床

●主な特徴

在宅療養支援診療所(機能強化型)、有床診療所緩和ケ ア診療加算基準施設、はまなす訪問看護ステーション併設、 平成24年度厚生労働省在宅医療連携拠点事業実施機関、 日本プライマリケア連合学会認定家庭医療後期研修プログ ラム実施

●職員状況

職員数:42人

医師1人、看護師15人、看護助手7人、管理栄養士1人、技 術員7人、その他11人

2011年度 診療実績

- ●外来延べ患者数・・・・・・・・・・ 18,461名 ●訪問診療(往診含)延べ患者数・・・・・ 1,867名
- ●入院延べ患者数・・・・・・・・・・・ 4,780名
- ●予防接種実施人数・・・・・・・・・・ 1,545名

札幌西円山病院

〒064-8557 札幌市中央区円山西町4丁目7番25号 TEL 011-642-4121 http://www.keijinkai.com/nishimaruyama/



札幌西円山病院は1979年の開院以来、一貫して高齢者医療の質の向上に取り組んで きました。医学的根拠(エビデンス)に基づく治療と、患者さまのQOL(生命・生活・人生の質) を重視したケアによってさまざまな病態に対応しています。特にリハビリテーションには力を 入れ、東北以北で最多を誇るリハビリスタッフが、入院患者さまへの365日にわたるリハビリ の提供や、通所・訪問リハビリといったきめ細かなサービスを行っています。

現在は療養環境の改善と医療の質の向上を図るプロジェクトを進めています。病棟の

準個室化をはじめ、ハード・ソフト両面で、より良い 医療の提供と職員が働きやすい環境づくりをめざ しています。

増え続ける高齢者医療のニーズに応え、地域の 医療を支えることも大きな使命です。在宅医療の サポートなど新たな機能を持つ病院の開設も視野に、 職員の教育や各部門の強化に取り組んでいます。



2011年度 診療概要

- ●入院患者延べ数・・・・・・832名/日
- ●外来患者延べ数・・・・・116名/日
- ●入院患者平均年齢・・・・・・・81.2歳
- ●患者分類別状況

(医療療養病床入院患者)

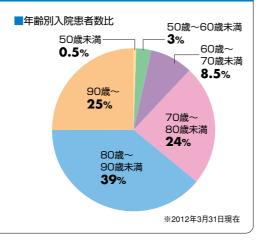
医療区分1/22%、医療区分2/39%、 医療区分3/39%

(介護療養病床入院患者)

平均要介護度3.95

●地域別患者数

札幌市694名(中央区257名、西区118名、 その他319名)/石狩36名/後志38名 /空知43名/胆振・日高9名/その他 道内 21名/道外 6名(合計847名)



DATA

●稼働	病床数•••••	866床
内	介護療養型医療施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	310床
	医療療養病床・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	298床
	医療一般病床・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	169床
	回復期リハビリテーション病棟	
		89床

●診療科日

内科・神経内科・リハビリテーション科・循環器内科・ 歯科

●主な特徴

日本医療機能評価機構認定病院(療養)、ISO9001 認証(審査登録)、通所リハビリ・居宅介護支援事業 所併設 など

●職員状況

職員数:953人

医師36人(歯科医含む)、看護師・准看護師325人、 薬剤師15人、医療技術職184人、介護福祉士59人、 事務職員92人、その他242人

沿革		
1979年	68	————————————————————— 西円山病院開院
1990年	-,,	医療福祉サービスセンター開設
	,/, 12月	思者家族の会設立
2000年	6月	NSTチーム(nutrition support team)
		立ち上げ
2001年	1月	ISO9001審査登録
2007年	3月	日本医療機能評価機構認定
	10月	院内保育所
		「西円山ピッコロ保育園」新築
2009年	11月	札幌西円山病院に改称

定山渓病院

〒061-2303 札幌市南区定山渓温泉西3丁目71 TEL 011-598-3323 http://www.keijinkai.com/jyouzankei/







定山渓病院は、患者さまやご家族に満足していただ ける慢性期医療をめざし、身体拘束廃止や終末期医療、 全入院患者さまへのリハビリテーションの提供や療養 環境の改善など全国に先駆けとなる取り組みを行って います。2010年には「慢性期医療認定病院」第1号と なり第三者評価により医療の質の高さが改めて認めら れています。



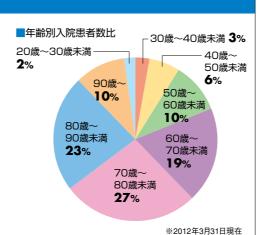
また、多様なカンファレンス(症例検討会)の開催や学術・接遇などの職員教育の充実を 図りチーム医療の実現とホスピタリティーの向上に努めています。

これからは、従来の入院機能を確立し、社会のニーズに対応するべく、在宅医療や福 祉施設との切れ目ない連携を行う'連携の拠点'としての慢性期医療の役割を追求し ていきます。

2011年度 診療概要

- ●入院患者延べ数・・・・・・382名/日
- ●外来患者延べ数・・・・・・35名/日
- ●入院患者平均年齢・・・・・・70.9歳
- ●地域別患者数

札幌市298名(南区150名、その他148名) /後志24名/空知15名/石狩13名/ 胆振・日高12名/網走・宗谷4名/上川・ 留萌4名/渡島·桧山3名/釧路2名/ 道外2名(合計377名)



DATA

●稼賃	動病床数・・・・・・ 386床
内	医療療養病床・・・・・・・・・245床
	医療一般病床・・・・・・・・141床

●診療科目

内科・神経内科・リハビリテーション科・歯科

●主な特徴

日本医療機能評価機構認定病院(一般、複合)、 ISO9001認証(審査登錄)、慢性期医療認定病院、 通所リハビリ、居宅介護支援事業所、介護予防セ ンター併設 など

●職員状況

職員数:338人

医師15人(歯科医含む)、看護師・准看護師115人、 作業療法士25人、理学療法士17人、言語聴覚 士10人、放射線・臨床検査技師2人、薬剤師6人、 管理栄養士3人、歯科衛生士3人、ケアワーカーほ か112人、事務職30人

沿革

1981年 5月 定山渓病院開院

1996年 10月 新棟完成

1998年 11月 日本医療機能評価機構認定

1999年 7月 抑制廃止宣言

2001年 1月 ISO9001審査登録

2006年 10月 新棟完成

2010年 5月 慢性期医療認定病院

渓仁会円山クリニック

〒064-0820 札幌市中央区大通西26丁目3番16号 TEL 011-611-7766 http://www.keijinkai.com/maruyama/







人間ドックや各種健康診断を専門に実施している施設です。病気の早期発見や予防に 貢献し、地域の健康を守っています。

今年度はサービスの向上を図るため、施設の改修工事を行い、5月17日にリニューアルオ ープンしました。いままでと比べて検査スペースはおよそ2倍になり、広く明るい待合スペース や機能的に配置された検査室、新たな検査機器の導入などによって、より快適に精度の高い 健診を受けていただけるようになりました。さらに7月からは健診受診者を対象にした会員制 の「メディカルフィットネス」も開設しています。

健診事業とともに、「生活習慣病外来」や「禁煙外来」による指導と治療、市町村の介護 予防事業などにも取り組んでいます。また、健診受診率向上や健康意識を高めるための啓 発活動も展開しています。

2011年度 | 診|療|概|要

- ●人間ドック・・・・・・15,878名
- ●生活習慣病健診・・・・・7,236名
- ●一般健診・・・・・・5.040

名

- ●巡回健診・・・・・・・8.358名
- 契約団体数

保険者約370団体、事業所約2,000 団体

●オプション検査数

婦人科(乳がん、子宮がん、卵 巣がん) 13,198件/CT (頭部・ 胸部・腹部) 2,933件/その他 (胃カメラ、前立腺マーカー、骨 粗しょう症ほか) 26,847件

■健診別受診者数比 巛回健診

23% 人間ドック 43% 14% 生活習慣病 健診 20%

DATA

人間ドック・健康診断専門施設 病床数6床(宿 泊ドック利用)

人間ドック(日帰り、1泊2日)の実施、各種健診(生 活習慣病健診、一般健診、特定健診、特殊検診) の実施、保険診療(生活習慣病外来、禁煙外来、 再検査)の実施、ヘルスサポート(保健指導、栄養 指導、運動指導、体力測定)の実施、自治体が所 有する保健施設の運動指導業務の受託

●主な特徴

人間ドック健診施設機能評価認定施設、優良総 合健診施設、運動型健康増進施設、健康評価施 設査定機能機構認定施設、マンモグラフィー検診 精度管理中央委員会認定施設、全国健康保険 協会生活習慣病予防健診実施施設、ISO9001 認証取得 など

●職員状況

職員数:118人

医師4人、看護師10人、医療技術職22人、メディカ ルクラーク5人、保健師6人、管理栄養士3人、健 康運動指導士8人、運動トレーナー12人、事務職 員48 人

沿革

1990年 1月 円山クリニック開設

2001年 2月 ISO9001審杏登録

2002年 4月 渓仁会円山クリニックに名称変更

2010年 6月 生活習慣病外来・禁煙外来を設置

2012年 7月 メディカルフィットネス開設





指定管理者沿村立茅沼診療所

〒045-0202 古宇郡泊村大字茅沼村711番地3 TEL 0135-75-3651



泊村立茅沼診療所は、泊村で唯一の診療所です。2010年10月から、医療法人渓仁会がこの診療所 の指定管理者となり、運営をスタートさせました。月曜から金曜の外来診療では、一日平均45名ほどの通 院に対応。健診やワクチン接種なども行っています。CT(コンピュータ断層撮影)やMRI(核磁気共鳴画 像法)をはじめとした、医療機器の充実ぶりも特徴のひとつです。そのほか、保育所や小中学校での健診や、 隣接する養護老人ホーム・特別養護老人ホームでの診察を担うなど、茅沼診療所は地域医療の拠点と なっています。

DATA

●診療科目 内科、循環器科、呼吸器科、消 化器科

●主な特徴 指定管理者制度により運営(公の施 設の管理・運営を、企業や法人などが代行する制度)

●職員状況 職員数:9人 医師1人、看護師3人、 放射線技師1人、事務職員4人

社会福祉法人 渓仁会



地域の福祉を 支える者としての使命感と理念で 未来へと続く質の高いサービスを



理事長 谷内 好

社会福祉法人渓仁会は本年4月に法人設立30周年を迎えました。これまで当 法人を支えてくださったご利用者さまやご家族、地域の皆さま、そして関係機関の方々 に心より御礼申し上げます。

30周年を機に、社会福祉法人渓仁会として、1「安全・安心」、2「信頼・満足」、 3「地域に貢献」という理念を制定いたしました。この簡潔な言葉には、福祉に携 わる者としての高い志が込められています。これらの意味を深く理解し、実践する ことが、コンプライアンスマインドの醸成とより良い福祉サービスの実現につながる と考えています。

地方における展開は、本年4月に岩内町より運営移管を受けた特別養護老人 ホーム 「岩内ふれ愛の郷」が始動したことに続き、喜茂別町においても2013年6 月の開設をめざして、特別養護老人ホームの建設が始まっています。地方からの 福祉ニーズにお応えするため、これからも計画的かつ着実に、施設の開設や新 規事業に取り組んでいく予定です。

当法人は、高齢者を中心にした福祉サービスの提供と、それによる地域福祉の 向上を社会的な使命としています。これからは医療法人渓仁会とも連携したシー ムレスなサービスを推進し、職員が誇りとやりがいを持って働くことができる環境づ くりにも努めてまいります。

特別養護老人ホーム 「きもべつ喜らめきの郷」 2013年6月開設予定

社会福祉法人渓仁会では地域福祉への貢献をめざし、虻 田郡喜茂別町に特別養護老人ホームを建設中です。その人 がその人らしく、慣れ親しんだ地域で、これまでどおりの普通の

生活を継続できるように、完全 個室のユニットケア方式を取 り入れる予定です。



DATA

- ●所在地 虻田郡喜茂別町字伏見272番1
- ●定員 80名(10名×8ユニット)
- ●職員計画 医師1人、看護師5人、介護員45人、ケアマネジャー・生活相談員 3人、その他7人



全室完全個室、ユニットケア、各ユニット共同生活室より羊蹄山を一望できる配置、 環境に配慮した設備計画(地中熱の活用、外断熱工法による使用エネルギーの 低減)

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

〒064-0944 札幌市中央区円山西町4丁目3番20号 TEL 011-631-1021 http://keijinkai.com/keijuen/



DATA

●開設 1982年4月

●定員 施設入所・・・・・・ 123名 短期入所生活介護 · · · · · · · · 14名 通所介護 · · · · · · 30名

札幌西円山病院に隣接した施設です。 健康への不安や体力の低下により、日常 生活に介助が必要とされる方に、生活全 般にわたる介護サービスを提供しています。 季節に応じた様々な行事活動を取りそろえ、 体調に負担のかからない程度で、ご利用 者さまの自己選択のもとご参加いただける よう配慮しています。

●主な特徴

ISO9001認証(審査登録).

居宅介護支援事務所、訪問介護・介護予防センター・ ホームヘルパーステーション・認知症対応型共同生活 介護 (グループホーム) 併設 など

|運|営|概|要 2011年度

●職員状況:職員数173人

医師、看護師、介護職員、ケアマネジャー、訪 問介護員、生活相談員、療法士ほか

- ●行事実施状況 : 夏祭り、園庭昼食会、敬 老祝賀会、第5回家族懇談会 ほか
- ボランティア・実習生受入れ状況: ボランティア延べ269人、実習12校59人
- ●研修参加·実施状況 : 外部研修参加25 回延べ42人、複数事業所連携合同研修会 3回延べ9法人560人、内部研修延べ508人、 その他各部署にて実施

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

あさがおの郷

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条11丁目2番35号 TEL 011-858-3333 http://www.keijinkai.com/asagao/



DATA

●開設 2011年8月8日

●定員

施設入所 · · · · · · 80名 短期入所生活介護 · · · · · 8名

ご利用者さま一人ひとりが地域社会との つながりの中で暮らせるように、閑静な住 宅街に立地しています。家族のようなふれ あいを感じるユニットケアで日常生活をお 手伝いし、居室は一人ひとりのプライバ シーが尊重されるよう全室個室となってい ます。季節ごとの行事を大切に、笑顔と安 心のある施設づくりに努めています。

通所介護(一般型) ******* 30名 居室数・・・・・・88室

●協力医療機関

ごとう内科クリニック、定山渓病院、札幌歯科口腔外 科クリニック

2011年度 運営概要

- ●職員状況:職員数76人 医師、看護師、 介護員、生活相談員、管理栄養士、ケアマネ ジャーほか
- ●行事実施状況: 敬老会、クリスマス会、ひ な祭り(入所・通所共通)、ユニット単位での 誕生会など
- ●ボランティア・実習生受入れ状況: ボランティア延べ19人
- ●研修参加・実施状況: 19回延べ47人、内 部研修参加は看取りケア研修・感染症研修・ 車椅子シーティング研修などを実施延べ187人

介護

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

内ふれ愛の郷

〒045-0024 岩内郡岩内町字野束69番地4号 TEL 0135-62-3131



DATA

●開設 2012年4月

施設入所・・・・・・50名 ●定員 短期入所生活介護・・・・・10名

●職員状況

職員数35人 介護員、生活相談員、栄 養士、理学療法士、ケアマネジャーほか

岩内町が30年にわたって運営してきた 特別養護老人ホームが、社会福祉法人渓 仁会に全面移行され、新たに運営開始と なった施設です。リハビリによって心身機 能の維持・回復が見込まれるご利用者さま には、その持てる残存機能を大いに発揮 していただけるよう、全職員が様々な立場 で取り組んでいます。

コミュニティホーム岩内、通所リハビリテーション、デイ サービスセンターま~れ、訪問看護ステーション岩内、 岩内町地域包括支援センター、事業所内保育所ゆい まーるなど、渓仁会グループの施設・サービスが集約





介護

介護老人福祉施設(地域密着型特別養護老人ホーム)

菊水こまちの郷

〒003-0814 札幌市白石区菊水上町4条3丁目94番地64号 TEL 011-811-8110



介護が必要になった方が、住み慣れた 地域で家庭的な雰囲気のもと暮らすこと ができるように、10名が1つの生活単位(ユ ニット)として暮らしの仲間になり、専属スタ ッフが日常生活のお手伝いをいたします。 食事・入浴など、ごく普通の暮らし方を顔な じみのスタッフがサポートしています。

●協力医療機関

広川内科クリニック、白石中央病院、白石江仁会病院、 札幌ひばりが丘病院、札幌歯科口腔外科クリニック

2011年度 運営概要

●職員状況:職員数40人

医師、看護師、介護員、生活相談員、管理栄 養士、ケアマネジャーほか

- ●行事実施状況:お花見、ふれあい交流会、 連合町内会夏祭りほか (毎月複数回実施)
- ●ボランティア・実習生受入れ状況: ボランティア延べ141人、実習12校延べ1,183人
- ●研修参加·実施状況 : 外部研修参加51 回延べ129人、内部研修実施14回延べ376人、 全職員が委員会活動に参加し、計画に基づ いた外部研修参加の機会をつくっている

生活支援

DATA ●開設 2007年7月

●定員

施設入所 • • • • • • • • • • • • 29名 小規模多機能型居宅介護 ****** 25名

(通い15名、泊まり・全室個室5名)

社会復帰

軽費老人ホーム(ケアハウス)

-ムヒル西円山

札幌市中央区円山西町4丁目3番21号 TEL 011-640-5500 http://keijinkai.com/calm-nishimaruyama **T**064-0944



DATA

●開設 1996年4月

●定員 100名(特定施設含む)

食事の提供、入浴の準備、緊急時の対応、 相談助言を基本サービスとして、自立維持 できる施設(ケアハウス)です。

入居者ができるだけ末永くケアハウスで 生活できるように「特定施設入居者生活 介護」の提供施設として指定を受け、介護 を必要とする方々にサービスを提供してい ます。

●主な特徴

「特定施設入居者生活介護 | の提供施設 など

白石区の中心部にある介護老人保健

施設で、地域と連携したさまざまな介護・福

祉サービスを提供しています。医師、看護

師等の専門スタッフが自立に向けた医療、

看護、介護、リハビリテーション、趣味活動

等を行い、明るく楽しい生活ができるよう援

●協力医療機関

札幌西円山病院

2011年度 運営概要

●職員状況:職員数16人

看護師、介護職員、相談員、事務員ほか

- ●行事実施状況: お花見、バスレク、夏祭り など、季節にあった行事を毎月、一般・特定利 用者それぞれで企画・実施
- ■ボランティア・実習生受入れ状況: ボランティア延べ42人、実習2校2人、入居者 との交流受け入れ2校85人
- ●研修参加·実施状況 : 実施回数29回参 加者延べ80人、その他複数の外部研修・内 部研修を実施

社会復帰 生活支援

介護老人保健施設

ュニティホーム白石

〒003-0024 札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号 TEL 011-864-5321 http://www.keijinkai.com/c-shiroishi/



DATA

●開設 1989年4月

●定員

施設入所(短期入所療養介護含む)

.....100名 通所リハビリテーション・・・・・・ 50名 短期入所生活介護 ******* 19名

●主な特徴

助しています。

ISO9001認証(審查登録).

指定居宅介護支援・ホームヘルパーステーション・グ ループホーム白石の郷[入居]・デイサービスセンター 白石の郷併設

2011年度 運営概要

- ●職員状況:職員数184人 医師、看護 師、介護員、支援相談員、作業療法士、理学 療法士、言語聴覚士、管理栄養士、ケアマネ ジャーほか
- ●行事実施状況:コミ白祭り、盆踊り、運動 会、クリスマス会、餅つき、家族を招いての誕 生会(毎月)ほか
- ●ボランティア・実習生受入れ状況: ボランティア延べ1.890人、実習18校95人
- ●研修参加·実施状況:外部研修66回延 べ130人、内部研修16回延べ399人、その他 各部署で多数実施

社会復帰 生活支援 介護老人保健施設

ニティホームハ雲

二海郡八雲町栄町13番地1号 TEL 0137-65-2000 http://www.keijinkai.com/c-yakumo/ 〒049-3117



高齢になっても住み慣れた地域でいつまでも自分らしく生 活できるようお手伝いする介護老人保健施設です。大勢の ケアのプロフェッショナルが、チームワークを生かして医療とリ ハビリテーション、日常生活の援助など総合的なケアサービス を提供しています。

DATA ●開設

1998年4月

●定員

通所リハビリテーション・・・・・・40

施設入所(短期入所療養介護含む)・・・・90名 ●主な特徴 指定居宅介護支援事業所併設 など ●協力医療機関

八雲総合病院、ヤクモ歯科クリニック

2011年度 運営概要

- ●職員状況 : 職員数73人 医師、看護 師、療法士、ケアマネジャー、介護員、相談員、 管理栄養十ほか
- ●行事実施状況 : 映画上映会、毎月の 誕生会、山車行列見学などのほか、12月 ~3月なべの日・寿司の日など通所利用者 とともに楽しむ
- ボランティア・実習生受入れ状況: ボランティア延べ214人、実習は養成学校・ 高校など延べ119人
- ●研修参加·実施状況 : 外部研修57回 延べ95人、内部研修13回延べ319人

社会復帰 生活支援 介護老人保健施設

ニティホーム美唄

美唄市東5条南7丁目5番1号 TEL 0126-66-2001 http://www.keijinkai.com/c-bibai/



介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で生活しな がら家庭生活への復帰をめざせるよう、美唄市とその近郊に お住まいの方に信頼度の高いサービスを提供する介護老人 保健施設です。開設当初から雪氷冷熱エネルギーを利用し た「雪冷房システム」を採用して、地球環境に配慮した施設 運営も行っています。

DATA ●開設

2000年4月

●協力医療機関

●定員 施設入所・・・・・・・80名

通所リハビリテーション・・・・・・ 50名

市立美唄病院、宝崎歯科分院

|運|営|概|要 2011年度

- ●職員状況 : 職員数75人 医師、療法 士、看護師、介護員、管理栄養士、支援相 談員、事務員ほか
- ●行事実施状況 : お花見、ドライブ、ふか し芋、敬老会、餅つき、甘酒パーティーほか、 ご利田者さま ご家族さまの要望等を聞き ながら、皆さまに喜ばれる行事を実施して いる
- ●ボランティア・実習生受入れ状況: 実習生受入れ状況 : 延べ380人、実習6 校延べ397人
- ●研修参加・実施状況:48回延べ116人、 人材育成のため積極的に各種研修を受 講している

社会復帰 生活支援 介護老人保健施設

ティホーム岩内

岩内郡岩内町字野束69番地26号 TEL 0135-62-3800



岩内町とその周辺を中心とした、後志地区の介護拠点と しての機能を担っている介護老人保健施設です。自宅から 移り住まれる入居者一人ひとりの生活を大切にすることをめ ざし、全室個室、10床を1ユニットとしたユニットケアを導入し ています。

DATA ●開設 2007年4月

●定員

施設入所(短期入所療養介護含む)・・・100

通所リハビリテーション・・・・・・50

名

●主な特徴

岩内町地域包括支援センター・訪問看護ステーショ ・ン岩内・事業所内保育所ゆいまへる併設・・など・・

2011年度 運営概要

- ●職員状況:職員数132人 医師、理学 療法十. 言語聴賞十. 作業療法十. 栄養十. 看護師、介護員、支援相談員、事務員
- ●行事実施状況 : お花見、夏祭り、敬老 会、紅葉ドライブ、餅つき、お雛様など、施 設全体で行う行事にはご家族さまの参加 も呼びかけて多くの参加を得ている
- ■ボランティア・実習生受入れ状況: ボランティア延べ260人、実習は養成学校・ 高校など延べ5人
- ●研修参加·実施状況 : 看護·介護基礎 研修、新人研修のほか、全職員を対象とし たユニットケア研修を実施

社会復帰 生活支援

美唄市東地区生活支援センターすまいる

〒072-0015 美唄市東4条南5丁目1番4号 TEL 0126-66-2525 http://www.keijinkai.com/smile/



高齢者や障がいのある方、そのご家族の代理人として、医療・ 保健・福祉にわたるサービスの紹介・相談・調整・手続きなど を行っています。電話相談は、365日・24時間・無休で対応し ています。また、通院介助を対象とした制度外訪問介護事業、 地域の高齢者や障がい者を対象とした福祉入浴事業も実施 しています。

□ATA ●開設 1999年4月

●事業内容 通所介護(一般型30名)、訪問介護、 居宅介護支援、ライフサポートアドバイザー、福祉入浴

2011年度 運営概要

- ●職員状況 : 職員数52人 ケアマネ ジャー、訪問介護員、看護師、介護員ほか
- ●行事実施状況 : (通所介護事業にお いて)お誕生会、お花見会、お茶会、敬老会、 クリスマス会など
- ●ボランティア・実習生受入れ状況: 延べ67人(涌所介護事業所)、実習延べ 44人(訪問介護・通所介護事業所)
- ●研修参加・実施状況: 各種研修延べ 118人、その他訪問介護、通所介護、居宅 介護支援の各事業所内研修を毎月1回 開催

渓仁会グループでは、地域に根ざした6つの「ハーティケアセンター」がデイサービスやショートステイといったサービスを提供。 で利用者さまとそのご家族が少しでも快適な在宅生活を続けられるように支援を行っています。

生活支援 通所介護

青葉ハーティケアセンター

〒004-0021 札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号 TEL 011-893-5000 http://www.keijinkai.com/aoba/



DATA

- ●開設 1999年12月
- ●デイサービス
- 通所介護(一般型)・・・・・・・・・・ 65名
- ●主な特徴

指定居宅介護支援事業所・訪問看護 ステーション併設

2011年度 運営概要

●職員状況: 職員数35人 生活相談員、看護職員、介護職員、ケアマネジャー、作業療法士ほか ●行事実施状況: 甘党スイーツの旅など各種外出ツアーのほか、毎月2回入浴デイ(変わり湯)を開催 ●ボランティア・実習生受入れ状況:延べ2,184人 実習生延べ247人 ●研修参加・実施状況: 通所介護、居宅介護、訪問看護におけるグループ内外主催の研修に多数参加

生活支援 通所介護

円山ハーティケアセンター

〒060-0001 札幌市中央区北1条西19丁目1番地2号 ファミール第2大通 TEL 011-632-5500 http://www.keijinkai.com/maruyama-h/



DATA

- ●開設 2009年4月
- ●デイサービス
- 通所介護 (一般型) ****** 75名
- ●主な特徴

指定居宅介護支援事業所併設

2011年度 運営概要

- ●職員状況 : 職員数37人 生活相談員、看護職員、介護職員ほか
- ●行事実施状況:各種外出行事の他、夏祭り、クリスマス会等を実施
- ●ボランティア・実習生受入れ状況: 定期ボランティア、趣味活動、演奏会など延べ1,200人 実習生約260人 ●研修参加・実施状況: 各種外部研修のほか、施設内勉強会を年8回実施

生活支援 通所介護

新琴似ハーティケアセンター

〒001-0912 札幌市北区新琴似12条7丁目1番45号 TEL 011-763-5500 http://www.keijinkai.com/shinkotoni-h/



DATA

- ●開設 2009年4月
- ●デイサービス
- 通所介護 (一般型) ******* 60名

2011年度 運営概要

●職員状況 : 職員数28人 生活相談員、看護職員、介護職員ほか

●行事実施状況:各種外出ツアーのほか、沖縄料理、九州料理、四国料理などの特別昼食デイを多数実施、2011年度は洋食も採用 ●ボランティア・実習生受入れ状況:会話・趣味など在籍20人 実習生延べ40人 ●研修参加・実施状況:グループ内外主催の研修会、施設内勉強会に多数参加

生活支援通所介護

豊平ハーティケアセンター

〒062-0009 札幌市豊平区美園9条5丁目4番21号 TEL 011-831-5000 http://www.keijinkai.com/toyohira-h/



DATA

- ●開設 2009年4月
- ●デイサービス

通所介護(一般型)・・・・・・・・・・ 70名

2011年度 運営概要

- ●職員状況 : 職員数26人 生活相談員、看護職員、介護職員ほか
- ●行事実施状況:運動会、買い物ツアー、夏祭り、落語の会など実施
- ●ボランティア・実習生受入れ状況:関わり、趣味活動、演奏会等多数 実習生延べ301人 ●研修参加・実施状況 : グループ研修、外部研修に

多数参加

生活支援 通所介護

手稲渓仁会ハーティケアセンター

〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1番40号 TEL 011-685-2568 http://www.keijinkai.com/teine-h/



DATA

- ●開設 2009年4月
- ●デイサービス
- 通所介護(一般型)・・・・・・・・65名
- ●主な特徴

指定居宅介護支援事業所・介護予防 センター併設

2011年度 運営概要

●職員状況: 職員数36人 生活相談員、看護職員、介護職員、ケアマネジャー、支援相談員はか ●行事実施状況 : 各種外出ツアーのほか、畑活動と朝市を実施 ●ボランティア・実習生受入れ状況 : 登録ボランティア17人 実習生延べ80人 ●研修参加・実施状況 : グループ内外主催の研修会に多数参加、内部勉強会として事例検討会議を2回開催

生活支援 通所介護

おおしまハーティケアセンター

〒988-0604 宮城県気仙沼市廻館55番2号 TEL 0226-26-2272 http://www.keijinkai.com/ooshima-h/



DATA

- ●開設 2000年2月
- ●デイサービス
- 通所介護 (一般型) ******** 30名
- ●ショートステイ・・・・・・ 9室
- 主な特徴 ISO9001認証(審査登録)、指定居宅介護支援事業所・訪問介護・訪問看護・在宅介護支援センター併設

2011年度 運営概要

●職員状況: 職員数40人 看護職員、介護職員、ケアマネジャー、相談員ほか ●2011年3月の東日本大震災にてセンターが被災しました。震災時は大島地区住民の介護、ボランティア活動、在宅者に対しては訪問介護、訪問看護、居宅介護支援が連携して自宅訪問を実施。9月12日から施設運営を再開して通所介護を、10月1日から短期入所生活介護の事業を再開しました。

株式会社ハーティワークス

〒003-0030 札幌市白石区流通センター1丁目7番54号 北新ビル1F TEL 011-863-8010 http://www.keijinkai.com/heartyworks/



2011年度 [運]営[概]要

- 福祉用具貸与利用者・・・7,981名
- ●特定福祉用具件数・・・・・161件
- ●住宅改修件数・・・・・・137件
- ●車いす製作件数・・・・・・240件

福祉用具のレンタルや販売を中心に 自宅での暮らしの安心を支えています。

福祉用具のレンタル・販売、車いすのオーダーメイド製作や出張修理、住宅改 修などの在宅サービスを中心に提供しています。介護が必要な方や障がいのあ る方が自分らしい生活を送ることができるよう、ニーズに合った質の高いサービス 提供をめざしています。

- **DATA** ●開設 2005年1月
 - ●職員状況

職員数14人 ホームヘルパー1・2級資格者、 ケアマネジャー資格者、福祉用具専門相談 員ほか

福祉用具のレンタルおよび販売/住宅改 修全般の相談・施工/病院・施設内の備品、

家具、福祉機器、ユニフォームの販売/車 イスのオーダー製作および修理

●主な特徴

ISO9001認証(審査登録)、介護保険指 定居宅サービス事業者(福祉用具貸与・販 売、住宅改修)、障害者自立支援法補装具 委託事業者、障害者自立支援法 日常生 活用具委託事業者

在宅支援

会計ソーシャル

- ■ソーシャルヘルパーサービス白石/〒003-0808 札幌市白石区菊水8条2丁目2番6号 TEL 011-817-7270
- ■ソーシャルヘルパーサービス中央/〒060-0007 札幌市中央区北7条西17丁目11 TEL 011-633-1771
- ■ソーシャルヘルパーサービス西 /〒063-0828 札幌市西区発寒8条10丁目4番20号 TEL 011-669-3530 http://www.keijinkai.com/social/



2011年度 運営概要

- ●訪問介護利用者・・・・・・3,054名 延べ利用回数 32,963回
- ●介護予防訪問介護利用者
- ·····3,890名

ヘルパーがご利用者さまのご自宅を訪問。 身体介護や生活援助をご提供しています。

地域のケアマネジャーが作成したケアプランに沿って、介護福祉士およびホー ムヘルパー2級以上の資格を持ったヘルパーがご利用者さまの自宅を訪問し、訪 問介護・予防サービスを提供する「訪問介護事業」を行っています。また、介護 が必要となる前に要支援の認定を受けた方には、介護予防訪問介護として家事 のお手伝いを行います。

- ●職員状況
- 職員数125人 ホームヘルパー1・2級資格 者、介護福祉士ほか

DATA ●開設 1998年6月

- ●業務概要 ホームヘルプサービス事業

会健康保険組

〒006-0811 札幌市手稲区前田1条12丁目2番30号 渓仁会ビル3F TEL 011-699-1180

独自の健康保険組合の運営によって 誰もが健やかに働ける環境づくりをめざしています。

渓仁会健康保険組合は、職員の福利厚生の充実をめざして設立されたもので、 医療と福祉の法人では北海道初のケースです。当グループは、職員とその家族の 健康を守ることは医療・福祉サービスの提供者としての責任ととらえています。被保 険者の職員とその家族に対し、生活習慣病予防や健康管理などニーズに適した柔 軟かつきめ細やかなサービスを実施し、これからも職員が安心して仕事に臨むこと ができる環境を整えていきます。

DATA

- ●設立 2009年10月1日

医療法人渓仁会、社会福祉法人渓仁会、株式会社ハーティ ワークス、株式会社ソーシャルの職員(被保険者)と家族(被 扶養者)

●加入者数 被保険者 3,778名

被扶養者 1.787名

計5,565名(2012年3月末現在)

渓仁会グループの人材育成への取り組み

社会から信頼され、 支持される組織をめざして

渓仁会グループでは、医療・保健・福祉を担う者として地域の皆さまに信頼され続けるために、 すべての職員がやりがいと誇りを持って仕事に臨むことができる組織づくりを重視しています。 職員のステップアップとキャリア形成を支援する、渓仁会グループの教育・研修制度をご紹介します。

「渓仁会グループ本部主催研修会]

段階に応じてきめ細かな研修を設定 職員一人ひとりのキャリア形成を支援

渓仁会グループは最も重要な人材育成の取り組みとして、職員 研修を充実させています。職員一人ひとりが常に学びながら、仕事 上でのスキルアップと人間として成長することを支援するため、さま ざまな研修を継続的に行っています。

渓仁会法人本部主催の職員研修は、入職後から系統立てて行 われます。当グループ全体に共通する課題について、年齢やキャリ アなどに応じた最適な研修をきめ細かく設定しています。

「階層別研修」は、グループ内の全組織から職員が集まり、各階 層に合わせたテーマについて研修を行います。新人から役職者まで、 それぞれの職務における役割と責任、コミュニケーションやリーダー シップなどを学びます。「年代別研修」は20代後半から50代の職員 を対象に、年代ごとの研修を行い、主に人生や仕事についてのキャ



リア形成を促します。また、より 大きなテーマについては「職員 合同研修会」において、全職員 が考える機会を提供しています。 当グループは職員の意欲を 2011年度 法亡金グループ難員会問研修会

尊重しています。研修によって学ぶ機会を提供することにより、サー ビスの質の向上を図るだけでなく、働きながら研鑽を重ね、成長す ることの喜びを知ってもらいたいと考えています。

当グループが研修によって育成をめざす職員像

- (1)自分で考え、自分で判断し、率先して行動できる、 "自立(律)能動型"の職員となること
- ②職員同士、患者さまやご利用者さま、そのご家族、地域社会と 心を通わせ合える"コミュニケーション能力"を持つこと
- ③計画→実行→評価→改善のPDCAサイクルを実践でき、 自分を律することのできる"自己管理型"能力を養うこと

■2012年度渓仁会グループ本部主催研修体系図

階層別研修 階層(勤続年数・役職など)別に、チーム活動に必 要なスキルや、役職者としての行動の基本・考え方 などについて学ぶ。

新人職員 新人フォローアップ 若手選抜者 入職3~5年目の一般職員 中堅選抜者 勤続5年以上の一般職員 新仟役職者 新任役職者 新任役職者 フォローアップ 役職者以上 看護管理者 中堅役職者 主任代理~課長

年代別キャリアデザイン研修	
年代に応じて自分のキャリア(人生・仕事)にて て考え、これからのキャリア開発の方向性などを学	

年代別キャリア研修Ⅰ 20歳代の一般職員 年代別キャリア研修Ⅱ 30歳代の一般職員 年代別キャリア研修Ⅱ 40歳代の一般職員

テーマ別研修 渓仁会グループの職員にとって共通のテーマにつ いて考え、学ぶ。

職員合同研修会 参加可能な全職員 幹部職員セミナー 役職者以上

■2011年度 渓仁会グループ本部主催研修実績

	4,0bT IE	EIIIIIIIIIII
名 称	回数	参加人数
新人フォローアップ	全7回	238名
若手選抜者	全3回	103名
中堅選抜者	全3回	134名
新任役職者	全1回	44名
新任役職者フォローアップ	全1回	35名
中堅役職者A	全1回	34名
中堅役職者B	全2回	39名
看護管理者研修会	全2回	113名
年代別キャリアデザイン [全2回	87名
年代別キャリアデザインⅡ	全2回	50名
年代別キャリアデザインⅡ	全1回	26名
幹部職員セミナー	全1回	272名
職員合同研修会	全1回	771名

[渓仁会グループ本部主催研修会]

参加者の声

中堅役職者研修会A

[リーダーのためのアサーティブネス]

研修の目的

中堅役職者として部下への指導、上司や他部署・他職種への提案といった場面でのアサーティブ*なコミュニケーションを学びます。「伝えるべきことを伝えられる」コミュニケーション力の向上を図り、職場におけるストレスマネジメントを身につけます。 ※相手の権利を尊重しながら、自分の要求・意見を適切に伝えられるコミュニケーション技法のこと。



手稲渓仁会病院 看護部 主任 **岸上 清美**

自分のコミュニケーションの傾向を知ることで、 他のスタッフとの関係性がよりスムーズに

今回の研修では、相手と対等で良好な関係を築くための、役職者として必要なスキルを身につけました。最初に自分のコミュニケーションの傾向を知った上で、ロールプレイ形式で気持ちの良いコミュニケーションの手法を具体的に学びました。

研修には渓仁会グループ全体から役職者が参加していたため、他の病院や施設などの話を聞くことができ、とても参考になりました。普段はなかなか深く関わることのない他の職種への理解にもつながると思いました。

研修後、同僚たちと話をする際の言葉の選び 方や態度などを強く意識するようになりました。 今回のようなコミュニケーションスキルの学習は、 仕事上だけでなく家族や友人などとの関わりに おいてもプラスになると感じました。今回の研修 はとても楽しく、参考になったため、周りのスタッフ にも内容を伝え、仕事に活かしてもらうようにして います。機会があればステップアップした内容の 研修も受けてみたい、と考えています。

渓仁会グループはこのような職員研修が充実していることも、働く上で大きな魅力だと思います。入職後から、段階ごとにさまざまな研修が用意されており、グループの一員として、一人の人間としても、必要なことを学ぶ機会になっています。

新人フォローアップ研修会

[自ら気づいて動き、連携する職員へ]

研修の目的

入職後の仕事を振り返り、職場で期待される役割を認識してもらいます。 また、効率的な仕事の進め方の基本を学び、業務に役立てるようにします。



札幌西円山病院 リハビリテーション部 理学療法士

山口 晶史

組織で仕事を進める上で必要な姿勢を学習 今の自分を分析し、改善を図る機会になりました

新人職員を対象にした研修会に参加しました。 最初に組織で働くことの心得について説明を受けた後、「自立(自律)型の職員になるために」、「連携型職員になるために」、「発信型職員になるために」というテーマについて、グループワーク形式で学びました。それぞれのテーマを掘り下げるなかで自分の現状を深く分析し、現実をしっかりと捉えることができました。そして、今の課題を改善するためには具体的にどう行動すべきか、ということを見つめ直す機会になりました。

実は以前から、自分に不足している点や課題

に気づいてはいましたが、なかなか改善できませんでした。しかし研修を受けたことで大きく意識が変わり、積極的に改善を図ろうと行動できるようになりました。

こうした研修会は参加する度に新たな発見があり、業務のスキルアップにもつながるため、新人の職員はとても助けられています。渓仁会グループは研修が多く、学ぶ機会が豊富にあるので、自分も一生学び続けるという姿勢を持ち続けていきたいと思います。

渓仁会グループの人材育成への取り組み

社会から信頼され、 支持される組織をめざして

「職能研修会]

業務上のスキルアップと組織横断的な交流の促進を図る

渓仁会グループでは、本部が主催する研修会とは別に、看護職や リハビリ職、相談職といった職種ごとに行う「職能研修」などを行っ ています。日々の業務に直接結びつく実践的な内容や、啓発的な 講演などを中心に、職能スキルと意識の底上げをめざします。その 職種や部門にとって必要なテーマに的を絞ることができるため、より

実状に即した研修をできるのが特徴です。こうした職種別の研修 は渓仁会グループの病院や施設から職員が参加し、組織横断的 にも行われています。同じ職種同士がコミュニケーションを図る機会 として、情報交換や技術交流などにも役立っています。

ソーシャルワーク部門 合同研修会

手稲渓仁会病院、札幌西円山病院、定山渓病院の3病院合同で、相談援助業務に関わる職員への研修を年に1回行ってい ます。テーマはその年の担当病院がニーズに合わせて企画します。事務や地域連携業務など、さまざまな担当業務があるため、 ソーシャルワーク部門全体に役立つ、幅広い内容を提供するようにしています。相談職は3病院間での連携を深め、研修会などで交 流を図ることが業務にも役立っています。また、今後は社会福祉法人の相談援助職との交流も積極的に進めていきます。

参加者の声



札幌西円山病院 地域連携推進室 医療ソーシャルワーカー

山岸 早苗

合同の研修会を行うことで3病院間の連携がよりスムーズに

ソーシャルワーク部門の研修会は、コミュニ ケーションスキルや仕事上の感性など、大きな テーマに沿った内容が中心です。2011年度は「3 病院のシームレスを考える」をテーマに、各病院 からソーシャルワーク部門の職員43名が参加し て行われました。

研修では講演やグループワークなどを通して、 3病院がどのように連携していくべきか、というこ とを考えました。グループワークでは、病院や年 代を越えてディスカッションを行い、グループごと に結論を発表するという共同作業を行うことで、 職員間の交流が促進されました。

3病院合同の研修会によって、新たな知識や 情報を得ることができ、仕事の視野を広げること にもなるため、とても役立っています。

手稲渓仁会病院 看護部研修会

手稲渓仁会病院看護部では教育委員会を立ち上げ、研修会を開催しています。内容は新入職員への研修、経験・キャリア別 の「高齢者の看護」や「クリティカルケア」、「がん看護」など。さまざまなテーマを取り上げ、看護ニーズにマッチした研修を提 供しています。講師は院内の認定看護師が務めるほか、高齢者看護研修は札幌西円山病院の専門看護師を招いて行って います。これからは研修での学びをどれだけ実践できているかについて、評価を行うことも目標にしています。

参加者の声



手稲渓仁会病院 看護部 看護師

垣見 憂香

技術と知識を再確認することで、自信にもつながります

今回参加した「高齢者の看護 | 研修では、主 にせん妄と認知症の違いについて学びました。 急性期病院である当院でも、近年は高齢の患者 さまが増えており、特に突然環境が変わったこと で幻覚や錯覚などのせん妄を起こされる方も多 いことから、それぞれの症状の特徴や対応方法 について学習しました。

札幌西円山病院の専門看護師鈴木真理子副

看護部長から、事例紹介や対策などの具体的な説 明を受け、高齢者看護について考えました。急性期 病院でも参考になることが多く、病院の機能は違っ ても高齢者看護の基本は同じなのだと感じました。

当看護部は、研修がきめ細かく設定されている ため、看護について継続的に学ぶことができま す。自分の技術や知識を見直す機会になり、仕 事の自信にもつながっています。

社会福祉法人渓仁会 リハビリ部門研修会

社会福祉法人渓仁会の各施設で働くリハビリ職員を対象に、年に1回開催しています。社会の超高齢化が進むなかで、これ からは在宅でのケアが重視されるという社会情勢も踏まえ、テーマは高齢者の地域リハビリテーションが中心になっています。 過去3回の研修会は外部から講師を招いていましたが、今年度は職員の事例発表会を実施する予定です。得られた成果を今 後のご利用者様のリハビリテーション・サービスに還元することをめざしています。

参加者の声



コミュニティホーム白石 リハビリテーション部 言語聴覚士

髙橋 永里子

講師の話に刺激を受け、モチベーションが高まりました

研修会は、仕事に役立つ内容のため、毎回と ても楽しみにしています。地方にある施設からも リハビリスタッフが集まり、顔を合わせる機会にも なっています。

2011年度の研修は、実践的な地域リハビリ テーションに取り組んでいる言語聴覚士の方が 講師でした。長年活躍されている先輩の話を聞 き、地域リハビリへの関わり方や言語聴覚士の

役割について深く考えさせられました。言語聴 覚士は、まだ認知度が低い職種ですが、コミュニ ケーションに関わるリハビリは地域でも重要だと 知り、仕事への情熱がより強くなりました。

これからも研修会には積極的に参加して、仕 事のモチベーションやリハビリのスキルを高めて いきたいと考えています。

社会福祉法人渓仁会 管理栄養士研修会

社会福祉法人渓仁会の施設で働く管理栄養士を対象に、2010年度から、年に3回、研修会を実施しています。テーマは幅広く、 高齢者の脱水や便秘、食品の有効性などのほか、認知症のご利用者さまが増えていることから薬剤についても取り上げてい ます。少人数で外部から招いた講師の方とじっくり議論を交わし、疑問もその場で解消しています。研修会で刺激を受けることで、 意識改革を図り、また新たな視点で仕事に臨んでもらうことも期待しています。

|参||加||者||の||声



菊水ごまちの郷 経営管理課 管理栄養士

武田 美香

専門的な知識を学びながら疑問や不安も払拭できます

研修会は、7名の管理栄養士が持ち回り制で テーマを決めています。興味があったり、現場で 必要な内容が取り上げられるため、仕事に直接 活かすことができます。

最近は胃ろうをされている方が増えているので、 適正なたんぱく質の投与に関する研修はとても 参考になりました。また、オリゴ糖について学んだ ときは、便秘解消や免疫の向上効果があること

を看護スタッフに伝えたところ、早速ご利用者さ まのケアに取り入れることになりました。

管理栄養士が集まる研修会では、専門家や 先輩たちの考えを率直に聞くことができ、心強く 感じます。こうした機会を大切にしていきたいと 考えています。

社会福祉法人渓仁会 キャリア支援室主催 研修会

社会福祉法人渓仁会で働く職員が継続的に学ぶ場として、年間を通して13回研修会を実施しています。2012年度は役職者 とリーダー層の育成や全職員を対象に現場のニーズが高い認知症ケアやコミュニケーション等の実践的なテーマで学びます。 充実した研修会を行うことで、組織体制の強化や、職員の職業倫理とスキルの向上などをめざしています。また、医療・保健・ 福祉・介護のシームレスサービスを実現するために、施設や職種を越えたネットワークづくりにも役立てています。

参加者の声



菊水ごまちの郷 看護·介護課 介護福祉士

神田 貴之

研修会の内容は毎回興味深く、現場で実践したい、と感じます

2012年3月の研修会は「介護者の負担を軽 減する介助方法」でした。職員の腰痛予防を目 的に、身体に負担がかからない介助方法を実践 的に学びました。こうした技術はすぐに現場で取 り入れることができ、さまざまな場面に応用して使っ ています。

近年は認知症のご利用者さまが増えているこ とから、認知症ケアに関する研修会には、私たち 職員も強い関心を持っています。2012年6月に 行われた「認知症ケアの実践」は、デイサービス の代表の方が講師をされました。実際の経験に 基づく話はとても興味深く、多くのことに気づか されました。

介護の技術は個別性が高く「これでいい」と いう答えのないものです。より良いサービスをめ ざして、学び続けたいと思います。

ISO26000<7つの中核主題>から見た 渓仁会グループにおけるCSR経営の現状

CSRに関する国際規格ISO26000(社会的責任に関する手引)には、組織統治、労働慣行などの7つの中核主題が示されていま す。渓仁会グループでは、これまでのCSR経営をより確かなものにするために、ISO26000を指針として当グループの事業活動にど のように適合させ、取り入れていくかの検討を重ね、CSR経営のさらなる深化に向けた取り組みへの歩みを着実に進めます。

ミッション

保健・医療・福祉の各サービスをシームレスに提供し、 地域住民の生涯に亘るニーズに応え支援を行う

記載のアイコンは、対象となる組織・施設名を示しています。

渓G …渓仁会グループ 医本 …医療法人渓仁会法人本部 性本 …社会福祉法人渓仁会法人本部 医 …医療法人渓仁会 手 …手稲渓仁会病院
 札西 …札幌西円山病院 定 …定山渓病院 渓円 …渓仁会円山クリニック 菊 …菊水こまちの郷 CH …コミュニティホーム HCC …ハーティケアセンター

	重点課題と戦略目標		戦略目標に対する2011年度の主要な取り組み	7つの 中核主題			
圣	制度動向の見極めと進行する各プロジェクトの事業の具体化と実施						
圣営ごジョン1	(日) 制度動向の注視と4つのプロジェクトの 促進と財政検証	医本	・院長会議・経営会議における 「次期診療報酬・介護報酬同時改定」に関する情報交換 ・各プロジェクトの連携による経営シミュレーションに基づいた トータルの予算計画作成に係る準備要請	組織統治			
	(月) グランドデザイン実現プログラムの策定と実践	手	・第2次Tプロジェクトチーム設置と活動、Nプロジェクト(札幌西円山病院)との グループ連携協議				
	(火) グランドデザインを実現するための人材育成		・専門医(放射線・腫瘍等)確保に向けた医師人員配置計画の検証	労働慣行			
Ī	(水) 将来を見据えた医療・療養環境の改善		・Nプロジェクト方針案策定に向けた活動(病院視察) ・ボランティア高齢化への対応検討(学生ボランティア導入・介護スクール復活等)				
	(木) 選ばれる病院づくり	札西	・Kプロジェクトチーム (新病院タスクフォース) 立ち上げ・IA管理システム導入検討	消費者課題			
, , ,) = E	金 制度動向の見極めと対応	定	・Jプロジェクト方針案策定に向けた活動(病院視察・厚労省保険局医療課長講演会参加・日本慢性期医療協会を通じた情報収集)	組織統治			
į	(土) 施設環境の整備	溪円	・アメニティに関するアンケート調査・円山ハーティケアセンター移転後空きスペース活用検討	消費者課題			
	(ロ)シームレスで循環型のサービスの 提供のための取り組み	医本	・渓仁会グループ相談援助職顔写真付紹介冊子の作成と研修会の実施・連携医療機関(手稲渓仁会病院・札幌西円山病院・定山渓病院)へのCSRレポート配布 ・「利用者サービスの流れ」統計的分析の仕組み・ニーズ調査・連携に係るレビューの仕組み検討				
	(月) 地域シームレス医療サービスプログラムの 構築と実践	手	 ・地域医療従事者研修会(札樽プレインフォーラム)開催 ・5大がんパス運用準備提携医向け説明会開催 ・共同利用(病床・光学機器・図書室・研修室等)規定見直し ・地域医療連携会議(手稲・石狩・銭函整形外科連携協議会)開催 ・退院調整チーム・病床マネジメント会議発足 ・地域医療支援病院指定準備 	消費者課是			
	(火) 専門職の積極的活用、職種間の有機的連携による 医療の質の向上		・呼吸ケアチーム発足 ・厚労省チーム医療モデル事業補助獲得(感染対策チーム)				
	(水) 将来性確保のための安定稼働	札西	・地域連携室立ち上げ ・言語聴覚士 (ST) の増員				
	(木) 循環型医療の志向	定	・月寒あさがおの郷との連携・医療区分1患者様の退院支援				
	(金) 健診後のフォロー体制の確立	溪円	・来年度医療連携室立ち上げ準備・要再検者への受診勧奨ハガキ郵送	-			
	(土) その他の取り組み	手札西	·札幌市医師会関係役員就任	コミュニティへ 参画&コミュニ の発展			

	重点課題と戦略目標		戦略目標に対する2011年度の主要な取り組み	7つの 中核主題			
圣	MSを中核手段として質の向上をはかり、根拠にもとづく信頼されるサービスの提供						
圣堂ブジョノ1	(日) ISO26000に根拠をおいた「CSR経営」の具体化		・CSR経営レビューの方法検討 ・コンプライアンスマニュアル改訂作業の実施及び中間報告 ・ISO26000読替作業の実施				
三頭でてる医療	(月) KMS (渓仁会マネジメントシステム) への円滑な移行	医本	・渓仁会グループQEマネジメントレビュー ・KMS構築のための体制整備(KMS会議・QEP分科会等) ・「渓仁会グループ医療・福祉の質方針」制定 ・統合MS内部監査員研修会開催	組織統治			
左蔡. 届止	(火) 個人の尊厳に配慮した良質かつ 安心・安全なサービス提供	社本	・「接遇とマナーの自己チェックリスト」の遵守 (西円山敬樹園) ・ヒヤリハット報告一覧書式のPCデータ化 (新琴似ハーティケアセンター)	消費者課題			
1.〜蒦ナーごえり是共	(水) 医療サービスの質の向上と チーム医療を支える組織づくり	Ŧ	・KMS体制と連動した品質管理委員会によるマネジメント統合検討 ・統合内部監査員教育の実施 ・労働時間等設定部会による就労環境の状況把握の継続的実施 ・改善活動提案・評価・表彰制度導入の検討	組織統治			
くり是に	(木) 啓蒙活動の促進	(札西)					
Ħ,	(金) リサイクル・リユース活動の推進			環境			
	(土) マネジメントシステムの有効活用			組織統治			
	(祭) マネジメントシステムの統合			祖 概 机 石			
	(紀 認定資格の取得・更新	溪円	・人間ドック健診施設機能評価取得 ・健診専門医研修施設認定	消費者課題			
	(自) その他環境関係の取り組み	渓G CH白石 CH美唄 豊平HCC	 ・おたるドリームビーチ清掃活動 ・リングブル回収車椅子北区役所寄贈 ・エネルギー変更(A重油→天然ガス) ・厨芥物堆肥化 ・環境パトロール ・LED照明導入テスト 	環境			
	戦略的なICT化と確実な情報セキュリティ対策						
	(日) ICT化の推進	札西	・注射オーダリング全稼働 ・オーダリハビリオーダリンク・看護支援システム (ケアネット) 段階的導入 ・電子ナースコール入替工事実施				
		溪円	・健診システム更新検討・手稲渓仁会病院電子カルテ設置	消費者課題			
	(月) その他の取り組み	医本手	・「ICTグランドデザイン」の提示 ・電子カルテ更新検討・情報共有システムID・LINK導入				
ᆽ	教育、研修機会の確保と充実						
圣営ジーブヨノコ	(日)人財育成と人事交流	札西					
ノヨノ	(月) 学習意欲の向上	定	•接遇研修会•呼吸療法認定士認定講習会等参加				
	火 教育・研修機会の確保と充実	溪円	・人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会参加・日本超音波医学会・日本肥満学会参加	労働慣行			
夸うがらてる医療・届止景竟の実見	(水)その他の取り組み	定手菊	・第19回日本慢性期医療学会開催・学術論文優秀者表彰・介護福祉士受験対策講座開講・上位資格取得者(介護福祉士等)処遇評価検討				
· · · · ·	対外発表、対外活動の奨励						
えき)	(日) 資格取得・スキルアップの奨励	溪円					
見見	(月)その他の取り組み	手 札西 定	•北海道病院学会優秀演題表彰	労働慣行			

ISO26000<7つの中核主題>から見た渓仁会グループにおけるCSR経営の現状

	重点課題と戦略目標		戦略目標に対する2011年度の主要な取り組み	7つの 中核主題		
経	働きやすい職場環境の構築					
経営ビジョン2	① 快適な働く場の実現	社本	・計画的有給休暇消化促進(西円山敬樹園) ・施設内保育所開設準備(コミュニティホーム岩内) ・職員休憩室設置(美唄市東地区生活支援センターすまいる) ・残業ガイドラインの設定・ノー残業デーの推進(新琴似ハーティケアセンター)			
誇りがもてる医療	② 働きやすい職場環境の構築	札西	・リフレッシュ休暇・ノー残業デーの取り組み ・暴言・暴力対策指針検討 ・「いいことカード」導入	労働慣行		
医医療		溪円	・時間外労働の縮減・有給休暇取得促進に向けた取り組み			
· 福 祉	③ 働き甲斐のある職場環境作り	定	・時間外労働の縮減・有給休暇取得促進に向けた取り組み			
・福祉環境の実現	④ その他の取り組み	手医本	・時間外労働縮減・有給休暇取得促進・リフレッシュ休暇等施策検討のための労働時間等設定部会による就労環境の状況把握の継続的実施 ・勤怠管理システム導入検討			
>0	適性、志望に応じたグループ内人事ローテーション	•		•		
	① 人材の確保	社本	・札幌市介護雇用プログラム事業活用(西円山敬樹園) ・人材育成と人事評価のシステム構築に向けた「コンピテンシー評価表」の活用(手稲溪仁会ハーティケアセンター) ・介護雇用対策制度活用(コミュニティホームハ雲)	労働慣行		
	② 専門性の発揮	札西				
	③ 組織体制の見直し	溪円				
	④ その他の取り組み	溪G 医	・相談援助職の人事ローテーション化検討 ・外部医療機関への出向人事 ・役職者の定年に関するガイドラインの運用	組織統治		
	① メンタルヘルス対策	医本	・グループ外医療機関との連携・メンタルヘルス「自己チェックシート」のデスクネッツ掲載・復職支援のためのメンタルヘルスガイドライン検討			
	② 働きやすい職場環境の構築	札西				
	③ ワーク・ライフ・バランスの推進	溪円		労働慣行		
	④ その他の取り組み	溪G	・特定健診(被扶養者)受診促進・生活習慣病健診を中心とした健診事業 (補助制度含む)への見直し(渓仁会健康保険組合) ・渓仁会グループ4法人健保組合全加入(ハーティワークス・ソーシャル加入完了) ・メンタルヘルス管理監督者研修会参加(コミュニティホーム八雲)			
	自律と統合を理念とした運営体制					
経営ビジョン	① おおしまハーティケアセンターの復興	医本	・被災職員に対する義援金による支援 ・施設運営再開(9/7)に向けた業務支援	コミュニティへの 参画&コミュニテ の発展		
3	② 各施設・事業単位での自主的・ 自立的経営(運営)の実現		・特別養護老人ホーム月寒あさがおの郷開設 ・岩内特別養護老人ホーム移管・喜茂別特別養護老人ホーム建設・ 手稲地区特別養護老人ホーム建設に係る準備 ・小規模通所介護開設準備(コミュニティホーム岩内) ・施設広報誌決算報告掲載(西円山敬樹園)	組織統治		
CSR経営の実行	③ 各施設・事業との密接な連携	- 社本	・ケアブランとリハ計画の連動による在宅復帰促進(コミュニティホーム白石) ・手稲区通所サービス連絡会事務局の設置(手稲渓仁会ハーティケアセンター) ・緊急時対応に係る救急認定看護師による定期的勉強会開催(手稲渓仁会ハーティケアセンター) ・ケアマネ向けデイ便り配付・空き情報FAX送信(新琴似ハーティケアセンター) ・感染症対策ネットワーク参加(コミュニティホームハ雲)	コミュニティへ(参画&コミュニラ の発展		
			・先進医療(手術ロボット「ダ・ヴィンチ」)の導入			
	④ 医療サービスの質の向上 (CSRの実践)	手	・PICU (小児集中治療室) 5床及びメディカルウイング整備事業補助金内示・患者アンケート実施準備			

	重点課題と戦略目標		戦略目標に対する2011年度の主要な取り組み	7つの 中核主題		
経	⑥ 医療サービスの質の向上		・病院本棟個室 (8床) 増設			
宮ビジ	⑦ 患者様のニーズの把握と対応	定 -	・患者満足度アンケートの実施	- 消費者課題		
経営ビジョン③(⑧ ニーズに沿った検査の提供	溪円	・保健師を窓口とする受診者へのオプション検査設定支援 ・遠隔地(礼文島)巡回健診業務の支援医療機関確保	> m (**********************************		
CSR経営の実行	⑨ その他の取り組み	社本	社会福祉法人創立30周年記念事業PJ委員会開催(①法人経営理念策定②制度創設 ③記念誌発行④イベント開催)	組織統治		
宮の実行		渓G	・東日本大震災災害医療支援活動 (D/SD/JMAT等)・職能/施設団体等の 要請に応じた被災者支援活動	コミュニティへの		
		手	・地域医療再生基金交付 ・災害拠点病院指定 (11月)	参画&コミュニティ の発展		
	内部統制と外部監査、第三者評価による確実、適正、効	率的な経営		•		
	① その他の取り組み	溪G 手 溪円 札西 定	・QE統合定期維持審査受審(10月) ・広報・情報公開評価事業認定	組織統治		
	適切な財務評価による経営					
	① 効率的医療サービスの追求と健全経営	手	・VHJ病院の情報収集等による材料費適正比率の分析・検討 ・手術室運営委員会等における手術枠・稼働状況の分析 ・LED照明導入検討			
	② 将来性確保のための安定稼働	札西	・VHJ加盟に伴う3病院単価統一(診療材料・医療機器)・診療材料病棟定数管理・リネン定数管理(新定数・運用ルール作成着手)・手稲渓仁会病院との連携強化(空きベッド対策)			
	③ 安定した収益の確保	定	・VHJ加盟に伴う3病院単価統一(診療材料・医療機器) ・非感染性廃棄物の見直し ・近隣病院定期訪問活動強化(入院待機者確保対策)	組織統治		
	④ 将来投資への財源の確保			1		
	⑤ 部門別損益の見直し	渓円	・健康運動指導士派遣事業の見直し ・フィットネスジム夜間運営(渓仁会グループ職員対象健康維持増進支援活動トライアル事業)			
	⑥ その他の取り組み	医 定 溪G	・ソフトウェア開発費資産計上化・購買システム統一検討・送迎バス全面委託・監査法人や公認会計士による外部監査			
	① 法律の遵守/個人情報保護法・省エネ法 (エネルギーの使用の合理化に関する法律)・ 次世代育成支援対策推進法・障害者雇用促進法	医本		組織統治		
	② 日頃から不祥事等を未然に防止する意識と社会的ルールに則った最善の行動のあり方の推進	社本	・施設理念及び運営方針の浸透度測定のための全職員へのテスト(菊水ごまちの郷)・コンプライアンス研修参加(美唄市東地区生活支援センターすまいる・豊平ハーティケアセンター)	一		
	③ 関係業者との適切な関係の構築			公正な事業慣行		
	④ 信頼のおける組織運営	溪円				
	⑤ その他の取り組み	医本手	・コンプライアンスマネジメントに関するアンケートの実施・医の倫理学術講演会	組織統治		
	外部及び内部広報の充実					
	① 広報機能の強化 ② その他の取り組み	渓田本 手 札西 定 社本 CH岩	・中国人・ロシア人等外国人受診者向け施設案内ビデオ作成検討 ・サラネットWeb版リニューアル ・院内広報誌「フロントフィールド」発行 ・院内イメージビデオ作成 ・介護予防センターだより発行 ・社会福祉法人30周年記念誌作成検討 ・コミュニティホーム岩内通信発行	消費者課題		

時代の変化に対応した経営力で

時代の変わり目に~CSRの理念を掲げる

今年わが国の65歳以上の人口は3千万人(全人口の24.1%) を超え、本格的な高齢社会に突入しました。団塊の世代が 後期高齢者(75歳以上)に到達する2025年にこの超高齢 社会はピークを迎えます。

時代は大きく変わっていきます。渓仁会グループの約30年の歴史は、20世紀後半から21世紀の初期にあたりますが、この時期は人類史上に特記される大きな変化があった時代でした。20世紀、世界の人口は爆発的に増加し科学技術は非常に進歩しました。人々は科学技術の進歩の恩恵を享受し、まさにエネルギーに満ち溢れた世紀であったといえます。わが国は「坂の上の雲」を目指し、右肩上がりに高度成長、発展をとげました。

しかし、21世紀に入って科学技術の負の遺産による地球 温暖化、原発廃棄物の処理などの環境問題や世界の政治 経済の深刻な混迷など、先行き不透明な閉塞感に世界全 体が覆われていると感ずるのは私だけではないと思います。

わが国は世界有数の長寿国になりましたが、高度成長時代は終わり、世界のどの国よりも早く人口は減少し始め、超高齢社会と低成長の時代へ急激に変わってまいりました。 国際化や情報化の急激な進展によって市民の意識が高 まってきた社会においては、相次ぐ企業の不祥事などが引き金になって、企業は何のために存在しているのかが厳しく問われるようになり、企業にコンプライアンスと社会貢献が強く要請される時代になりました。

渓仁会グループを取り巻く社会環境は、このような大きな「時代の変わり目」にあります。1979年創業の草創期における急激な成長・発展の後、バブル崩壊の試練を経て渓仁会グループは第二の創業期に入りました。その新たな時期のビジョンに「CSR経営の確立」を提唱し、私たちの進むべき方向性を提示したのです。医療機関は「まごころ医療」など患者さま第一の理念を掲げるのが一般的ですが、医療・保健・介護福祉複合事業体の渓仁会グループは、社会構造と市民意識の大きな時代の変わり目において、「社会の要請に誠実に応えて地域社会へ貢献し信頼されるブランドを目指す社会的責任(CSR)経営」をグループ全体が目指す理念(志)に掲げました。

この志に基づき、それぞれの病院や施設では、患者さま・利用者さま第一に安心と満足感を与える医療とケアの提供、地域との連携と協働、自己研鑽と自己変革を目指すなどのCSRの目標を追求しています。すなわち、新しい時代における「渓仁会グループと地域社会の持続的な発展」を支えるのは、CSRの精神を経営理念の根幹に取り込み、グループの職員全体がこの志を共有することが未来の展望を切り開くと確信しています。

変えてはならないもの~CSR経営の理念

これからは超高齢化などの著しい社会構造の変化により、 医療と介護、福祉のあり方は大きく変わっていきます。しかし、 時代の変化によってどのように医療や介護のあり方が変わ ろうとも、私たちには「変えてはならないもの」があります。そ れは私たちの改革を支える「CSR経営」の志です。

2006年からの第1期ビジョンでは、CSR理念の浸透を目



CSR構想を実現する

的にしてきました。第1期の5年間で、CSRの理念を具体的な業務に取り込んだマネジメントが軌道に乗ってきました。 ISOの自主的な内部監査の実施、それぞれの職場における運営方針とその検証・改善にBSC*1(バランスト・スコアカード)による経営マネジメントの採用、また各種の職員研修などを通じて、PDCA*2サイクルが定着し、CSRの精神は組織の内部にかなり浸透してきました。

2011年から始まった第2期ビジョンでは、CSR経営をいかに確実に実行するかを提起しています。つまり「地域社会のために尽くす社会的な責任」という「CSR構想」をどのように具体的に実現していくかです。

変えるべきもの~時代への対応力

CSR構想を実現する戦略は、刻々と変化する時代へいかに対応するかです。つまり、「時代の変化への対応力」が渓仁会グループの「経営力」ということになります。

CSR経営の理念に基づいて、渓仁会グループはどのように「変わっていくべきか」という「経営力」が問われているのです。

医療と介護福祉の分野は、時代の変化に大きな影響を受けます。医学は日進月歩であり、最先端の医療技術を取り入れて高度専門医療を提供するのは時代の要請であり私たちの責務です。一方、医療の構造改革により、「患者本位の医療提供体制」のために医療機関の機能分化、つまり急性期、亜急性期(回復期)、慢性期、在宅への特化と連携(つながり)を強化する政策が進められています。超高齢社会の急激な進展により、医療と介護のシームレスな連携や地域包括ケアシステムなどの構造改革が進められています。つまり、時代の変化とともに医療・介護のあり方は大きく変わっていきます。この変化への対策をいかに講じるかが「時代への対応力」であり、的確な対応をいかにとるかが「経営力」ということになります。

渓仁会グループ近未来のCSR構想

渓仁会グループは、この時代の奔流の中で、これからの 近未来に新たな展望を切り開くためにCSRの志を実現す る「CSR構想 |を企画しています。

「信頼される医療・福祉・介護サービスの提供」を目指し、 時代の変化に対応したプロジェクトの推進を提起していま す。手稲渓仁会病院は大学病院と同程度の医療を提供 するDPCII群病院に指定され、救急医療、高度専門医療、 地域医療支援などの急性期機能を最大限に発揮できるよ うな改革を進めます。

高齢者の医療と介護は、国の政策により厳しい経営を強いられていますが、慢性期医療の社会的ニーズは非常に高いのが現状です。札幌西円山病院と定山渓病院はこの社会的要請に真摯に応えて、病床を再編して制度の変化に対応し、在宅機能を強化して医療と介護の連携に取り組みます。またリハビリ医療、在宅・訪問医療と介護の連携拠点として新病院の設立を進めます。

超高齢社会では地域の介護力が課題です。多方面から介護福祉充実の要請が相次ぐ社会福祉法人渓仁会の役割はさらに大きくなります。

各ISOのシステムを統合した渓仁会マネジメントシステム (KMS)が内部監査員研修を反復し徐々に軌道に乗ってきました。ISO26000(社会的責任)の自己宣言へ確実に歩みつつあります。

これらの「CSR構想」を実現する渓仁会グループの総合的な「経営力」は、多職種の多数精鋭の人財によって支えられます。CSRの志を共有する多数の人財を育成し、時代の変化に敏感であることが、渓仁会グループの未来を作ると確信します。

※1 BSC (バランスト・スコアカード) / 組織のミッションやビジョンなどを明確にし、それを達成するための具体的な行動を策定するマネジメントツール。

※2 PDCA/業務改善活動などで広く活用されているマネジメント手法の一つ。Plan (計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)のプロセスを順に実施していくもの。





東京交通短期大学 学長 田中 宏司 (たなか ひろじ)様

1959年中央大学法学部卒。1954年~90年日本銀行 勤務の後、早稲田大学大学院講師等を経て、2002年 ~06年立数大学大学院教授。(社)経営倫理実践研 究センター理事・首席研究員、元ISO/SR国内委員会 委員、元ISO26000JIS化本委員会委員等。著書多数。

渓仁会グループは、私たちのCSRとして、渓仁会グループが めざす"「ずーっと。」 それはみなさまの一生に寄り添うこと"を スローガンとして掲げ、表紙にもそのような世代の輪を載せて、 組織が一体となり継続して日々のCSR活動に取り組んでいます。

優れており注目される点

第1は、1st Life Stage「誕生~青年期」から、2nd Life Stage「成人~就職・出産・育児期」、3rd Life Stage「働き 盛り・親の介護世代」、4th Life Stage「セカンドライフ世代」、 5th Life Stage「人生の終末・ターミナル期」まで5段階に分 けて、現場での関係者の生き生きとした日々の活動を丁寧に 紹介しています。さらに、「ステークホルダーとのコミュニケー ション」の欄を新設し、患者の声と院長メッセージにより双方 の対話がなされています。

第2は、秋野理事長のトップメッセージ「時代の変化に対応 した経営力でCSR構想を実現する」が注目されます。理事 長は、時代の変わり目だからこそ、「CSR経営」をグループ全 体が目指す理念として掲げると宣言し、現在は2011年から始 まった第2期ビジョンにおいて、「変えてはならないもの」として CSR経営の理念を掲げ、地域社会のために尽くす社会的責 任を明確にしています。

次いで、「変えるべきもの」として、時代への対応力を掲げ、 超高齢化社会における医療、介護の目まぐるしい動きへの対 応という「経営力」が重要と訴えています。こうした渓仁会グ ループの未来展望は、CSR構想の実現を基軸にして展開す るものと期待できます。

第3は、地域の「ずーっと。」を共に支える医療連携の取り 組みです。地域に住む人々の健康を守り人生を豊かにする ためには、グループ外の医療機関や福祉機関との連携が不 可欠です。確かなネットワークを築くことにより、地域の利用者 へ的確なサービスを提供できるほか、地域住民の医療・保健・ 福祉への信頼と安心が生まれます。

第4に、"それは一人ひとりが輝いてこそ。日ごとのやりがい・ パワーの源"のタイトルを付した職員紹介が、注目されます。 渓仁会グループは、医療・保健・福祉の複合事業体であるだ けに、患者に対応する職員の仕事力が極めて重要です。職 員紹介は人々との絆を一層強めると期待されます。さらに、人 材育成への取り組みについて、きめ細かな研修が実施され ています。

第5は、データの公開です。まず、渓仁会グループ施設運営 概要では、"施設概要と使用手引書"として利用者が参照す るに便利な形にまとまっています。次に、「CSR経営をより確か なものにするために」とISO26000の7つの中核主題から見た CSR経営の現状を、経営ビジョン別に戦略目標と取り組みを分 析しているのは見事です。さらに、医療・保健・福祉サービスの 用語集は、キーワードが簡潔に解説され利用者に便利です。

今後さらなる発展を期待すること

まず、理事長のトップメッセージにあるとおり渓仁会グルー プが時代の変化に対応して、「CSR構想」を実現することが 期待されています。そのためには、第2期ビジョンの年度計画 の中に、具体的な目標、実践方法を明示して、全員が一体と なって取り組まれるとともに、その成果と評価を公開すること が望まれます。

次いで、当グループとしては、すでにISO26000の中核主題 を実践に組み入れていますが、今後とも時代の変化に敏感 に対応して、社会的課題の解決のために前向きに取り組ま れることを望みます。

"渓仁会グループだからこそ取り組むべき課題"を、経営 戦略に織り込み柔軟に対応することにより、信頼される医療・ 保健・福祉の複合事業体として一層発展することを大いに 期待しています。

渓仁会グループの活動を よりわかりやすく お伝えするために 医療·保健·

福祉サービスの



【医療連携】

地域にあるさまざまな医療機関が自分たちの機能 や特色を明確にし、役割分担をしながら、互いに協 力・連携して治療に取り組む医療体制のこと。医 療機関は得意分野に専念することができ、患者さ まはスムーズに質の高い医療サービスを受けるこ とができます。

【胃ろう】

口から食べ物を摂ることが難しい場合、直接栄養や 水分などを送り込むために胃に開ける小さな穴のこと。 あるいはその処置自体のことを指して使われる場合 もあります。

【インフォームドコンセント】

医師が患者さまに対して治療方法などの説明を行い. 正しく理解してもらったうえで、納得と同意を得ること。 医師が一方的に決めるのではなく、患者さまの意思 を尊重するための概念として、日本では1990年代か ら取り入れられるようになりました。

【ADL(エー・ディー・エル)】

「Activities of Daily Living」の略で、日本語では日 常生活動作といいます。食事や移動、排泄、入浴と いった日常生活に必要な最低限の基本動作のことで、 こうした動作ができるかどうかが、高齢者や障がいを 持つ人の動作能力を判定する指標になります。

【介護老人福祉施設】

心身に重い障がいがあるため常時介護が必要で、 ご自宅での生活が困難な65歳以上のご利用者さまに、 看護や介護、リハビリテーションなどを提供する施設。

要介護度1~5と認定された 方が対象になります。一般 には「特別養護老人ホーム」 と呼ばれています。

【介護老人保健施設】

介護が必要なご利用者さまがご自宅に復帰できる ように、看護や介護、リハビリテーションなどで支援 する施設。介護保険の被保険者で、入院治療の 必要がない要介護度1~5と認定された方が対象 になります。

【回復期病院】

急性期を過ぎて、自宅復帰をめざす段階の患者さま を対象した病院のこと。「回復期リハビリテーション 病院(病棟)」は、主に脳卒中や脊椎・骨盤骨折な どの急性期治療を終えた患者さまに、専門的なリハ ビリテーションを提供します。

【かかりつけ医】

風邪や発熱など、さまざまな病気の初期症状に対応 し、日常から健康状態の把握やアドバイスを行う身 近な存在の医師のこと。必要があれば、適切な治療 が受けられるように専門的な医療機関を紹介し、患 者さまの情報提供などを行います。



【カテーテル】

血管や尿管などに挿入して、治療や検査、体液の排 出などを行うための細く柔らかい管。手術を行わずに 治療などができるため、身体への負担がかかりにくく、 心臓や脳、血管、消化器など、幅広い分野で普及が 進んでいます。

【カンファレンス】

病院内で開かれる症例検討会のこと。担当する症 例を持ち寄り、診断や治療方法について幅広い視 点から話し合います。医師同士のほか、他職種を交 えて行うチームカンファレンスなどもあり、スタッフ間 の情報共有の場としても活用されています。

【緩和ケア】

患者さまの心身の苦痛を取り除き、できるだけ安 楽に過ごしていただくことを目的にした医療的な 処置のこと。多くは末期がんなどで余命が短い方 に対して行われます。入院に限らず、ご自宅や通 院でも対応し、ご本人やご家族の要望を重視しな がら、充足した時間を過ごしていただけるように支 援します。

【QOL(キュー・オー・エル)】

「Quality Of Life(生活の質)」の略。精神面 や身体面なども含めたその人らしい豊かな生活(人 生)、という概念。医療や福祉の世界では、患者 さまやご利用者さまの価値観を尊重しながら、そ

の人らしく生きることを支えるという考え方としても 使われます。

【急性期病院】

病気の発症から急激に症状が進み、重症な状態に ある患者さまに対して、入院や手術などの専門的で 高度な医療を行う病院のこと。



【クリニカル・パス】

患者さまが入院してから退院するまでの検査や手術、 リハビリテーションなどのスケジュールをまとめた診療 計画表のこと。クリティカル・パスともいいます。患者 さまと医療者側の双方が持ち、意識や情報を共有し ながら、スムーズな治療をめざすためのものです。

【グループホーム】

病気や障がいを抱える人たちが、福祉サービスの支 援などを受けながら、地域において、少人数単位の 集団で生活するケアの形態。日本では介護保険の 給付対象になっていることから、認知症の高齢者を 対象にした居住型施設という限定的な意味でも使 われています。

【ケアマネジャー】

介護支援専門員ともいいます。介護が必要と認定さ れた方が適切なサービスを受けられるように、介護 サービス計画 (ケアプラン)を作成します。在宅介護 サービス事業者や福祉施設、行政機関などとの連 絡役を果たし、ご利用者さまとご家族を支えます。

【言語聴覚士(ST)】

話したり聞いたり、言葉を理解したりといった言葉の コミュニケーションに障がいがある人へのリハビリ テーションを担当します。脳卒中による失語症や発 声障害のほか、摂食・嚥 (えん) 下障害のケアなどに も関わります。



食べ物や飲み物などを飲み込む際に、食道ではなく 誤って気管に入ってしまうこと。飲み込む力が弱くな った場合などに起きやすくなります。食べ物などが気 管に入ると肺炎になったり、窒息の原因になることも あります。

医療・保健・福祉サービスの用語集



医師と歯科医師以外の、医療に携わる専門職種の 総称。看護師、薬剤師のほか、リハビリテーションに 関わる理学療法士や作業療法士、歯科診療に関わ る歯科衛生士、検査業務を担当する臨床検査技師 など、数多くの職種が含まれます。



【在宅ケア(医療)】

患者さまのご自宅で提供する医療のこと。特に、症 状の重い患者さまがご自宅での生活を続けられるこ とを目的に行う、訪問診療や訪問看護などを意味す る場合もあります。



【作業療法士(OT)】

身体や精神に障がいがある人や高齢者などに、趣 味的な活動や日常生活動作(→ADL)の訓練など を通してリハビリテーションを行います。身体面だけ でなく、精神面への働きかけも重視し、その人らしい 生活が送れるように支援します。

【シームレスなサービス】

「シームレス」とは継ぎ目がない、という意味。渓仁会 グループでは、医療・保健・福祉サービスを途切れる ことなくつなぎ、スムーズに提供しています。これはグ ループ内にとどまらず、外部の医療機関や福祉施設、 行政機関とも連携を深め、スムーズなサービスの提 供をめざしています。

【紹介状】

正式には診療情報提供書といいます。かかりつけ 医などから、より高度な医療を提供する医療機関 に患者さまを紹介する際、症状や診断、治療経過 などを明記し、スムーズに治療が引き継がれるよう にするためのものです。総合病院などでは、紹介 状がないと特定医療費を請求されることがあります。 これは初期診療を受け持つ医療機関と高度医療 を行う医療機関の役割分担を促すという目的から のものです。

【褥瘡】

病気などで長期間、寝たきりになっていたために、腰 やお尻、手足などの皮膚が圧迫されて壊死を起こし た状態。床ずれともいいます。

【セカンドオピニオン】

現在かかっている病院での診断や治療方針について、 それが適切かどうかを判断するために、他の病院の 医師の意見を聞くこと。

【摂食·嚥下】

摂食は食べ物を摂ること。嚥下は食べ物を口から 飲み込んで胃まで運ぶまでの機能のこと。高齢者 などに多い摂食・嚥下障害は、この機能が正常に 働かず、食べ物や飲み物がうまく飲み込めなかったり、 誤って気管などに入ってしまう(→前頁「誤嚥」)症 状のことをいいます。

【ソーシャルワーカー】

生活上や身体上などの問題を抱えている人を、相談 やアドバイスによって支え、社会復帰や自立した生 活に向けて援助する役割の総称。医療・保健・福祉 などの専門的な知識を持つ専門職で、医療機関で はメディカルソーシャルワーカーとも呼ばれます。



【尊厳死】

余命が短いと診断された患者さまが、延命だけを図 るための医療的な処置を受けることを望まず、人間と 者側は、何よりも患者さま(とご家族)の意思を尊重 して、安らかな最期を迎えられるように支えます。

【ターミナルケア】

終末期の患者さまに対する医療や看護、介護など のこと。延命的な医療処置よりも、苦痛や恐怖を取 り除き、患者さまがその方らしさを保ちながら人生を 終えられるようにするためのケアを中心に提供します。

【地域包括支援センター】

地域の高齢者が安心して暮らせるように、総合的な 支援を行う窓口。市町村、あるいは市町村から委託 を受けた医療・福祉法人などによって運営されます。 介護予防の観点から、自宅で生活される高齢者また はその家族の相談に応じ、医療・福祉サービスなど が適切に提供されるようにします。

【特定健診/特定保健指導】

特定健診は生活習慣病予防のために2008年度か ら始められた健康診査。成人病のリスクが高いとさ れるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の 予防に重点を置いているため、「メタボ健診 | とも呼 ばれます。この特定健診で危険度が高いと判定され

ると、特定保健指導によって食生活や運動などの指 導を受け、生活習慣の改善をめざすことになります。

【トリアージ】

災害などで多くの負傷者が出た場合、症状に応じて 分類し、治療や搬送の優先順位をつけること。治療 や搬送の効率を高め、一人でも多くの重傷者を救う ために必要な処置として採用されています。

【プライマリ・ケア】

身近にいて、さまざまな病気の診療や相談に対応し てくれる医師(かかりつけ医)による総合医療のこと。 プライマリ・ケアを行う医師は、専門のトレーニングを 受け、あらゆる初期診療に対応できる能力を身につ けています。

【慢性期病院(療養病床)】

急性期を過ぎて症状は安定しているものの、経過の 見守りが必要で自宅復帰が難しい患者さまに、長期 間にわたって入院・治療を提供する病院のこと。

【看取り】

病気になった人の世話をすること。または亡くなるま でそばで看病し、見守ること。最近は後者の意味で 使われることが多く、自宅のほか、病院や福祉施設 などで亡くなられる方への対応を指す場合もあります。

【予後】

治療後などの症状についての医学的な見通し。あ るいは、病後の経過を指して使われる場合もあります。

【理学療法士(PT)】

身体に障がいがある人や高齢者などに、主に身体 機能の回復や維持などを目的としたリハビリテー ションを提供します。歩行訓練や体操などによる運 動療法と、患部を温めたり電気刺激を当てたりする 物理療法を行うほか、住宅改修のアドバイスなども 担当します。



【リハビリ】

リハビリテーションの略。身体的な機能を回復したり、 障がいを軽減したり、症状が悪化しないように維持 するための訓練や治療のこと。リハビリテーションを 担当するスタッフには、理学療法士、作業療法士、 言語聴覚士などがいます。

渓仁会円山クリニック

札幌市中央区大通西26丁目3-16 ☎011-611-7766

治療とケア

手稲渓仁会病院

札幌市手稲区前田1条12丁目1-40 ☎011-681-8111

手稲渓仁会クリニック

札幌市手稲区前田1条12丁目2-15 ☎011-685-3888

手稲家庭医療クリニック

札幌市手稲区前田2条10丁目1-10 ☎011-685-3920

療養とケア

定山渓病院

札.幌西円山病院

札幌市中央区円山西町4丁目7-25 ☎011-642-4121

札幌市南区定山渓温泉西3丁目71 ☎011-598-3323

西円山敬樹園

札幌市中央区円山西町4丁目3-20 ☎011-631-1021

月寒あさがおの郷

札幌市豊平区月寒西1条11丁目2-35 ☎011-858-3333

岩内ふれ愛の郷

岩内郡岩内町字野束69-4 20135-62-3131

菊水ごまちの郷

札幌市白石区菊水上町4条3丁目94-64 ☎011-811-8110

社会復帰·生活支援

カームヒル西円山

札幌市中央区円山西町4丁目3-21 ☎011-640-5500

コミュニティホーム白石

札幌市白石区本郷通3丁目南1-35 ☎011-864-5321

コミュニティホーム八雲

二海郡八雲町栄町13-1 ☎0137-65-2000

コミュニティホーム美唄

美唄市東5条南7丁目5-1 ☎0126-66-2001

コミュニティホーム岩内

岩内郡岩内町字野束69-26 ☎0135-62-3800

グループホーム 白石の郷

札幌市白石区本郷通3丁目南1-16 ☎011-864-5861

グループホーム 西円山の丘

札幌市中央区円山西町4丁目3-21 ☎011-640-2200

西円山敬樹園ショートステイセンター

札幌市中央区円山西町4丁目3-20 ☎011-631-1021

おおしまショートステイセンター

宮城県気仙沼市廻館55-2 ☎0226-26-2272

月寒あさがおの郷ショートステイセンター

札幌市豊平区月寒西1条11丁目2-35 ☎011-858-3333

岩内ふれ愛の郷ショートステイセンター 岩内郡岩内町字野束69-4 20135-62-3131

コミュニティホーム白石ショートステイセンタ

介護予防·在宅支援

札幌市白石区本郷通3丁目南1-35 ☎011-864-5321

札幌市白石区 第1地域包括支援センター

札幌市白石区本郷通3丁目南1-35 ☎011-864-4614

岩内町地域包括支援センター

岩内郡岩内町字野束69-26 ☎0135-61-4567

宮城県気仙沼市 在宅介護支援センターおおしま

宮城県気仙沼市廻館55-2 ☎0226-26-2272

札幌市中央区 介護予防センター円山

札.幌市中央区円山西町4丁目3-20 ☎011-633-6056

札幌市中央区 介護予防センター曙・幌西

札幌市中央区円山西町4丁目3-20 ☎011-633-6055

札幌市白石区 介護予防センター白石中央

札.幌市白石区本郷诵3丁目南1-35 ☎011-864-5535

札幌市南区 介護予防センター定山渓

札幌市南区定山渓温泉西3丁目71 ☎011-598-3311

札幌市手稿区爵曲1条表 丁目1-40 ☎011-685-3141

青葉ハーティケアセンター(デイサービス) 札幌市厚別区青葉町4丁目10-27 ☎011-893-5000

豊平ハーティケアセンター(デイサービス)

札幌市豊平区美園9条5丁目4-21 ☎011-831-5000

円山ハーティケアセンター (デイサービス)

札幌市中央区北1条西19丁目1-2 ☎011-632-5500 手稲渓仁会ハーティケアセンター (デイサービス)

札幌市手稲区前田1条12丁目1-40 ☎011-685-2568

新琴似ハーティケアヤンター(デイサービス) 札幌市北区新琴似12条7丁目1-45 ☎011-763-5500

おおしまハーティケアセンター

宮城県気仙沼市廻館55-2 ☎0226-26-2272

西円山敬樹園デイサービスセンター

札幌市中央区円山西町4丁目3-20 ☎011-640-5522

デイサービスセンター白石の郷

札幌市白石区本郷通3丁目南1-35 ☎011-864-3100

デイサービスセンターすまいる

美唄市東4条南5丁目1-4 ☎0126-66-2525

デイサービスセンターおおしま

宮城県気仙沼市廻館55-2 ☎0226-26-2272

月寒あさがおの郷デイサービスセンター

札幌市豊平区月寒西1条11丁目2-35 ☎011-858-3333

デイサービスセンターま~れ

岩内郡岩内町字万代45-10 ☎0135-67-7511

小規模多機能型居宅介護 菊水こまちの郷

札幌市白石区菊水上町4条3丁目94-64 ☎011-811-8110

渓仁会在宅ケアセンター

札幌市手稲区前田1条12丁目2-8 ☎011-685-2322

札幌西円山病院在宅ケアセンター

札幌市中央区円山西町4丁目7-25 ☎011-642-5000

定山渓病院在宅ケアセンター

札幌市南区定山渓温泉西3丁目71 ☎011-598-5500

指定居宅介護支援事業所コミュニティホーム白石

札幌市白石区本郷通3丁目南1-35 ☎011-864-2252

指定居宅介護支援事業所 西円山敬樹園

札幌市中央区円山西町4丁目3-20 ☎011-644-7650

指定居宅介護支援事業所あおば

札幌市厚別区青葉町4丁目10-27 ☎011-893-8761

指定居宅介護支援事業所すまいる 美唄市東4条南5丁目1-4 20126-66-2525

指定居宅介護支援事業所やくも

二海郡八雲町栄町13-1 ☎0137-65-2121

指定居宅介護支援事業所ケアプランセンターこころ

札幌市西区八軒1条西1丁目2-10 ☎011-632-0605

岩内郡岩内町字万代45-10 ☎0135-67-7801

札幌市中英区北1条西79丁目1-2 **☎**011-640-6622

はまなす訪問看護ステーション

札幌市手稲区前田2条10丁目1-10 ☎011-684-0118

訪問看護ステーションあおば

札幌市厚別区青葉町4丁目10-27 ☎011-893-5500

訪問看護ステーションおおしま

宮城県気仙沼市廻館55-2 ☎0226-26-2270

訪問看護ステーション岩内

岩内郡岩内町字野束69-26 ☎0135-62-5030

西円山敬樹園ホームヘルパーステーション

札幌市中央区円山西町4丁目3-21 ☎011-644-6110

コミュニティホーム白石ホームヘルパーステーション 札幌市白石区本郷通3丁目南1-35 ☎011-864-2008

ホームヘルパーステーションすまいる

美唄市東4条南5丁目1-4 ☎0126-66-2525

ホームヘルパーステーションおおしま

宮城県気仙沼市廻館55-2 ☎0226-26-2272

ケアセンターこころ

札幌市西区八軒1条西1丁目2-10 ☎011-632-0605

ソーシャルヘルパーサービス白石 札幌市白石区菊水8条2丁目2-6 ☎011-817-7270

ソーシャルヘルパーサービス中央

札幌市中央区北7条西17丁目11 ☎011-633-1771

补 田邑 幌市西区発寒8条10丁目4-20 **☎**011-669-3530

株式会社 ハーティワークス

泊村立茅沼診療所 ※病院・施設の概要は36ページ~49ページをご覧ください。

各病院、施設、事業の実績データを収載した 「渓仁会グループ年次報告書」は、 渓仁会グループホームページをご覧ください。

渓仁会グループ年次報告書



●編集事務局/

医療法人渓仁会 法人本部 広報室

●発行年月/2012年11月

●次回発行予定/ 2013年11月を予定しております。 ●発行責任部署および連絡先 医療法人渓仁会 法人本部

T006-0811

札幌市手稲区前田1条12丁目2番30号 渓仁会ビル3F TEL 011-699-7500 FAX 011-699-7501 E-mail: editor0110@keijinkai.or.jp

ずーっと。



私たち渓仁会グループの仕事は、 あなたの病気を治すことだけでなく、 年齢に応じた健康維持のアドバイスをしたり、 介護を含めた老後の安心のお手伝いをすることでもあります。 心身ともに輝いて生きるために。 生涯にわたって渓仁会グループは、ずっとあなたのそばに。

K渓仁会グループ

〒006-0811 札幌市手稲区前田1条12丁目2番30号 渓仁会ビル3F TEL 011-699-7500 FAX 011-699-7501

渓仁会グループホームページ

渓仁会グループ



http://www.keijinkai.com

